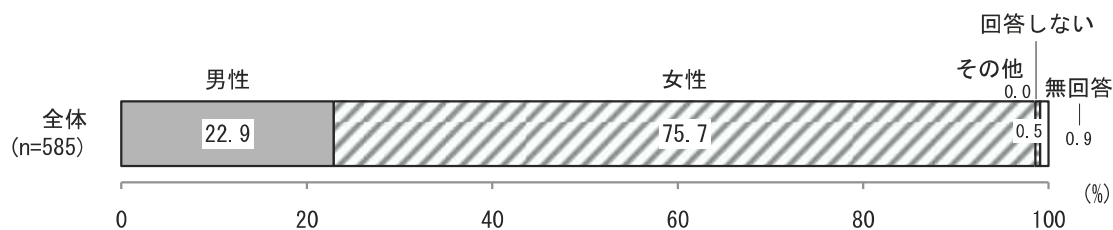


Ⅲ 民生児童委員アンケート調査 調査結果

1. 回答者の属性

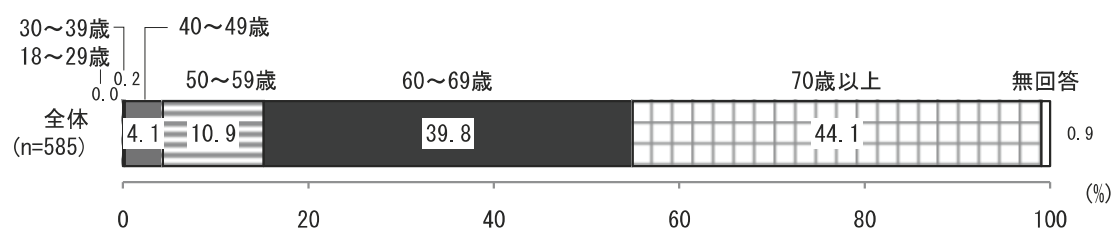
(1) 性別

・性別は、「男性」が22.9%、「女性」が75.7%となっています。



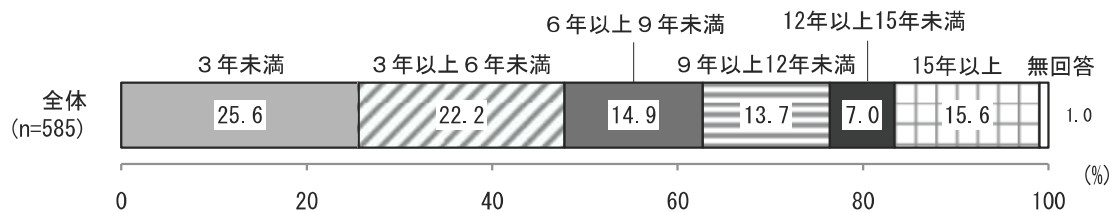
(2) 年齢

・年齢は、「70歳以上」が44.1%で最も多く、次いで「60～69歳」が39.8%、「50～59歳」が10.9%となっています。



(3) 民生児童委員としての活動年数

- ・ 民生児童委員としての活動年数は、「3年未満」が25.6%で最も多く、次いで「3年以上6年未満」が22.2%、「15年以上」が15.6%となっています。
- ・ 年代別でみると、30～50歳代と60歳代は「3年未満」が最も多くなっていますが、70歳以上では「15年以上」が最も多くなっています。
- ・ 地区別でみると、中央地区では「6年以上9年未満」が25.0%で最も多く、武庫地区では「3年未満」と「15年以上」がそれぞれ22.7%で最も多くなっています。



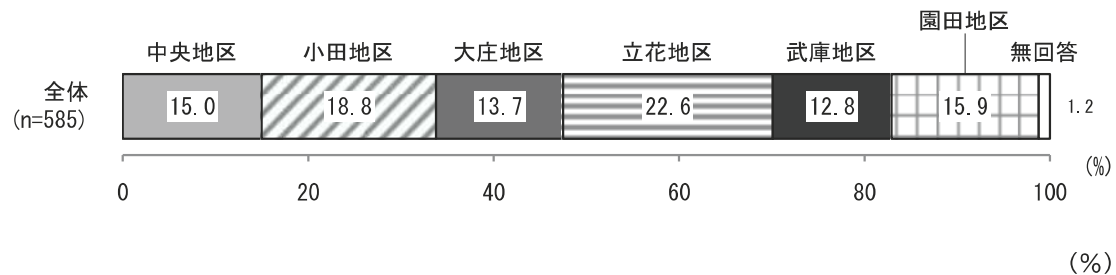
		(%)						
	回答者数(人)	3年未満	3年以上6年未満	6年以上9年未満	9年以上12年未満	12年以上15年未満	15年以上	無回答
年代別								
30～50歳代	89	39.3	31.5	19.1	6.7	2.2	1.1	-
60歳代	233	33.9	21.5	14.2	11.6	6.4	12.0	0.4
70歳以上	258	14.0	20.2	14.3	17.8	9.3	23.6	0.8
地区別								
中央地区	88	21.6	18.2	25.0	13.6	4.5	15.9	1.1
小田地区	110	20.0	29.1	10.0	15.5	7.3	18.2	-
大庄地区	80	26.3	26.3	11.3	12.5	6.3	17.5	-
立花地区	132	34.1	22.0	12.9	12.1	6.1	12.1	0.8
武庫地区	75	22.7	14.7	10.7	18.7	10.7	22.7	-
園田地区	93	28.0	19.4	21.5	11.8	8.6	10.8	-

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 担当区域が属する地区

- ・担当区域が属する地区については、「立花地区」が22.6%で最も多く、次いで「小田地区」が18.8%、「園田地区」が15.9%となっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、3年未満では「立花地区」が30.0%で最も多く、3年以上6年未満、9年以上12年未満、15年以上では「小田地区」が最も多くなっています。



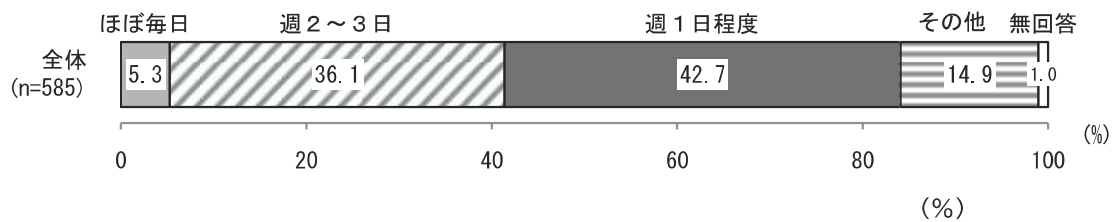
	回答者数 (人)	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	無回答
民生児童委員としての活動年数別								
3年未満	150	12.7	14.7	14.0	30.0	11.3	17.3	-
3年以上6年未満	130	12.3	24.6	16.2	22.3	8.5	13.8	2.3
6年以上9年未満	87	25.3	12.6	10.3	19.5	9.2	23.0	-
9年以上12年未満	80	15.0	21.3	12.5	20.0	17.5	13.8	-
12年以上15年未満	41	9.8	19.5	12.2	19.5	19.5	19.5	-
15年以上	91	15.4	22.0	15.4	17.6	18.7	11.0	-

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 活動頻度

- ・活動頻度は、「週1日程度」が42.7%で最も多く、次いで「週2～3日」が36.1%、「ほぼ毎日」が5.3%となっています。
- ・年代別でみると、30～50歳代と60歳代では「週1日程度」が最も多くなっていますが、70歳以上では「週2～3日」が最も多くなっています。
- ・地区別でみると、「ほぼ毎日」の割合は園田地区が9.7%で最も高くなっています。



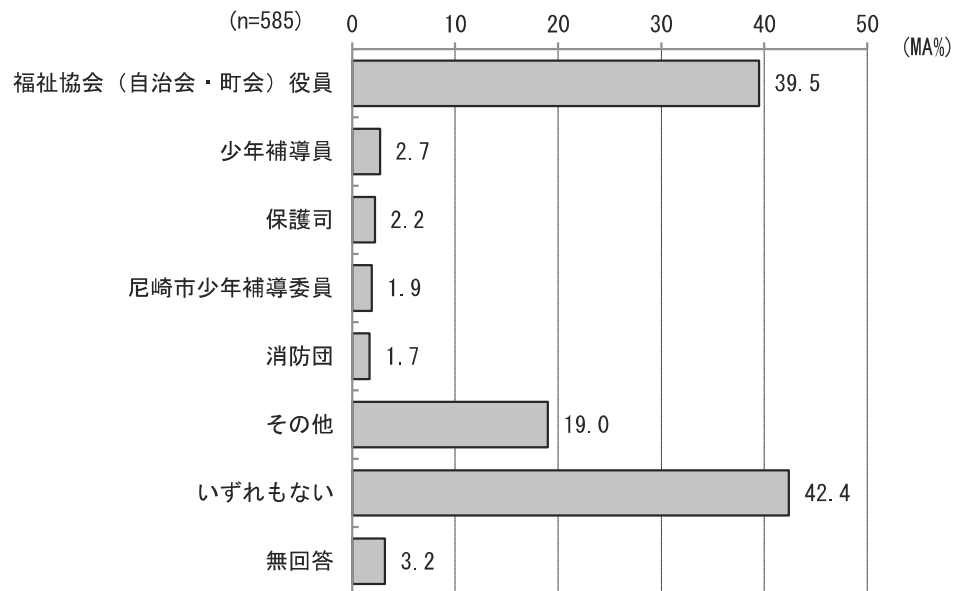
	回答者数 (人)	ほぼ毎日	週2～3日	週1日程度	その他	無回答
年代別						
30～50歳代	89	4.5	22.5	47.2	24.7	1.1
60歳代	233	3.0	30.9	51.9	13.3	0.9
70歳以上	258	7.4	46.1	32.9	12.8	0.8
地区別						
中央地区	88	3.4	43.2	44.3	8.0	1.1
小田地区	110	4.5	40.0	45.5	10.0	-
大庄地区	80	8.8	46.3	37.5	6.3	1.3
立花地区	132	3.0	41.7	39.4	15.9	-
武庫地区	75	2.7	20.0	37.3	38.7	1.3
園田地区	93	9.7	22.6	51.6	15.1	1.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) 民生児童委員以外の地域での役割

- ・現在担っている民生児童委員以外の地域での役割については、「いずれもない」が最も多くなっていますが、地域での役割がある人では「福祉協会（自治会・町会）役員」が39.5%で最も多く、次いで「少年補導員」が2.7%、「保護司」が2.2%となっています。



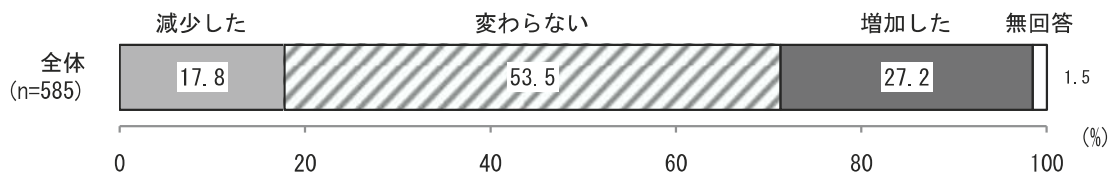
2. ご近所とのつきあいや地域活動などについて

(1) 近所づきあいや地域活動についての変化

(問1) ご近所とのつきあいや地域活動などについて直近5年間での変化はありましたか。
(①・②のそれぞれについて、1～3のいずれかに○を1つずつ)

① 隣近所の住民とのコミュニケーション

- ・隣近所の住民とのコミュニケーションについては、「変わらない」が53.5%で最も多く、次いで「増加した」が27.2%、「減少した」が17.8%となっています。
- ・年代別でみると、「減少した」の割合は30～50歳代が21.3%で最も高く、高齢になるほど割合が低くなっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、「減少した」の割合は概ね活動年数が長くなるほど割合が高く、15年以上が28.6%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「減少した」の割合は武庫地区が25.3%で最も高く、「増加した」の割合は大庄地区が35.0%で最も高くなっています。
- ・活動頻度別でみると、ほぼ毎日では「増加した」が54.8%で最も多くなっています。



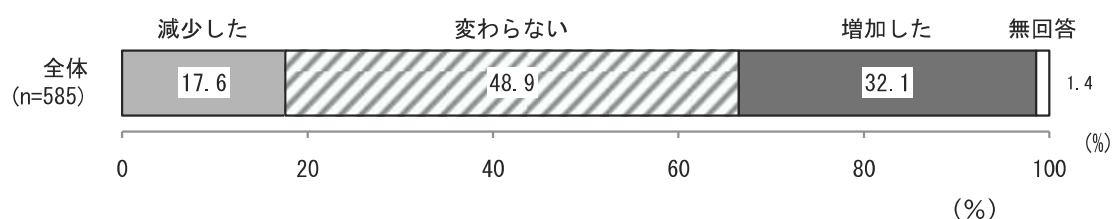
	(人)	減少した	変わらない	増加した	無回答
年代別					
30～50歳代	89	21.3	56.2	22.5	-
60歳代	233	21.0	51.1	27.5	0.4
70歳以上	258	14.0	54.3	29.1	2.7
民生児童委員としての活動年数別					
3年未満	150	14.7	56.0	28.7	0.7
3年以上6年未満	130	13.1	53.1	32.3	1.5
6年以上9年未満	87	16.1	54.0	29.9	-
9年以上12年未満	80	20.0	55.0	23.8	1.3
12年以上15年未満	41	22.0	48.8	26.8	2.4
15年以上	91	28.6	47.3	19.8	4.4
地区別					
中央地区	88	19.3	60.2	20.5	-
小田地区	110	18.2	59.1	21.8	0.9
大庄地区	80	11.3	50.0	35.0	3.8
立花地区	132	15.9	53.0	28.8	2.3
武庫地区	75	25.3	48.0	25.3	1.3
園田地区	93	18.3	48.4	32.3	1.1
活動頻度別					
ほぼ毎日	31	3.2	41.9	54.8	-
週2～3日	211	13.7	52.6	31.8	1.9
週1日程度	250	20.8	54.8	23.6	0.8

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 福祉協会（自治会・町会）等の地域の団体への関わり

- ・福祉協会（自治会・町会）等の地域の団体への関わりについては、「変わらない」が48.9%で最も多く、次いで「増加した」が32.1%、「減少した」が17.6%となっています。
- ・年代別でみると、「増加した」の割合は60歳代が33.0%で最も高くなっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、「減少した」の割合は12年以上15年未満が31.7%で最も高く、次いで9年以上12年未満が23.8%となっています。
- ・地区別でみると、大庄地区では「増加した」が47.5%で最も多くなっています。
- ・活動頻度別でみると、ほぼ毎日では「増加した」が51.6%で最も多くなっています。



	回答者数 (人)	減少した	変わらない	増加した	無回答
年代別					
30～50歳代	89	19.1	48.3	32.6	-
60歳代	233	19.3	47.2	33.0	0.4
70歳以上	258	15.5	50.0	31.8	2.7
民生児童委員としての活動年数別					
3年未満	150	16.7	44.0	38.0	1.3
3年以上6年未満	130	8.5	48.5	40.0	3.1
6年以上9年未満	87	14.9	51.7	33.3	-
9年以上12年未満	80	23.8	53.8	22.5	-
12年以上15年未満	41	31.7	46.3	22.0	-
15年以上	91	23.1	49.5	25.3	2.2
地区別					
中央地区	88	22.7	50.0	25.0	2.3
小田地区	110	19.1	52.7	27.3	0.9
大庄地区	80	11.3	38.8	47.5	2.5
立花地区	132	10.6	52.3	35.6	1.5
武庫地区	75	25.3	46.7	26.7	1.3
園田地区	93	19.4	49.5	31.2	-
活動頻度別					
ほぼ毎日	31	9.7	38.7	51.6	-
週2～3日	211	14.7	45.0	37.9	2.4
週1日程度	250	18.8	52.0	28.8	0.4

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

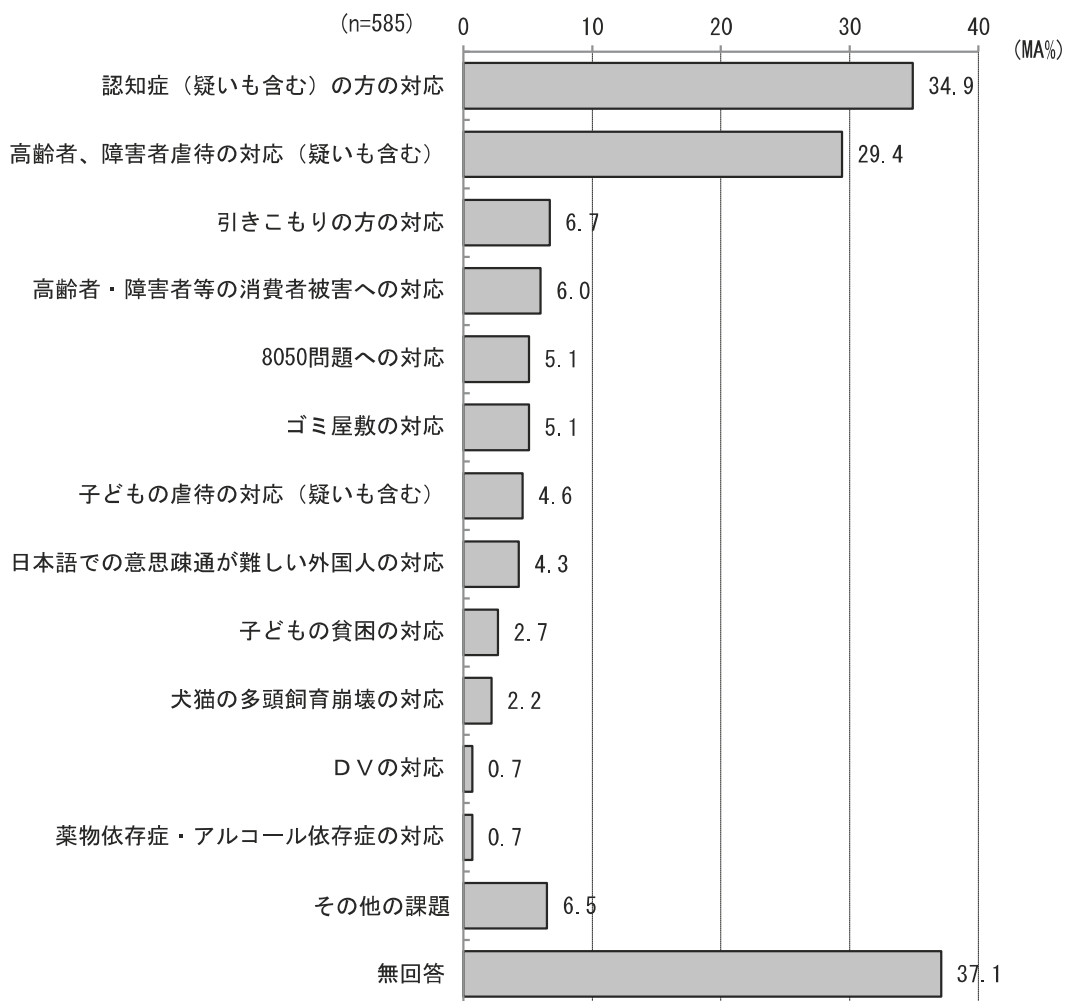
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

3. 担当区域の状況について

(1) 担当区域で対応している要援護者の状況

(問2) 現在、担当区域で対応している要援護者はいますか。(〇はいくつでも)

- ・担当地域で対応している要援護者の状況については、「認知症（疑いも含む）の方の対応」が34.9%で最も多く、次いで「高齢者、障害者虐待の対応（疑いも含む）」が29.4%、「引きこもりの対応」が6.7%となっています。
- ・年代別でみると、「認知症（疑いも含む）の方の対応」や「高齢者、障害者虐待の対応（疑いも含む）」、「引きこもりの対応」、「8050問題への対応」、「ゴミ屋敷の対応」、「日本語での意思疎通が難しい外国人の対応」、「子どもの貧困の対応」、「犬猫の多頭飼育崩壊の対応」の割合は年齢が上がるほど割合が高く、70歳以上が最も高くなっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、3年未満は「高齢者、障害者虐待の対応（疑いも含む）」が28.0%で最も多くなっていますが、3年以上活動している人では「認知症（疑いも含む）の方の対応」が最も多くなっています。
- ・地区別でみると、「認知症（疑いも含む）の方の対応」の割合は大庄地区が38.8%で最も高くなっています。
- ・活動頻度別でみると、「犬猫の多頭飼育崩壊の対応」と「DVの対応」、「薬物依存症・アルコール依存症の対応」を除く項目では、ほぼ毎日が最も高くなっています。



		(MA%)						
	回答者数(人)	認知症(疑いも含む)の方の対応	高齢者・障害者虐待の対応(疑いも含む)	引きこもりの方の対応	高齢者・障害者等の消費者被害への対応	8050問題への対応	ゴミ屋敷の対応	子どもの虐待の対応(疑いも含む)
年代別								
30～50歳代	89	19.1	11.2	2.2	-	1.1	3.4	12.4
60歳代	233	32.2	28.8	4.7	6.4	3.4	4.7	3.4
70歳以上	258	42.2	35.7	9.3	7.8	7.8	5.8	3.1
民生児童委員としての活動年数別								
3年未満	150	20.7	28.0	4.0	5.3	1.3	2.0	3.3
3年以上6年未満	130	34.6	26.9	3.1	7.7	2.3	6.9	3.8
6年以上9年未満	87	44.8	31.0	10.3	5.7	8.0	3.4	5.7
9年以上12年未満	80	45.0	28.8	6.3	5.0	10.0	6.3	3.8
12年以上15年未満	41	48.8	31.7	9.8	4.9	9.8	12.2	2.4
15年以上	91	34.1	29.7	11.0	6.6	5.5	3.3	8.8
地区別								
中央地区	88	31.8	27.3	5.7	9.1	5.7	4.5	4.5
小田地区	110	37.3	34.5	8.2	7.3	3.6	3.6	2.7
大庄地区	80	38.8	26.3	6.3	3.8	2.5	5.0	3.8
立花地区	132	33.3	28.8	5.3	3.8	5.3	6.8	8.3
武庫地区	75	32.0	26.7	5.3	4.0	5.3	4.0	4.0
園田地区	93	36.6	29.0	8.6	8.6	7.5	5.4	3.2
活動頻度別								
ほぼ毎日	31	58.1	35.5	16.1	12.9	16.1	29.0	19.4
週2～3日	211	45.5	34.6	9.5	5.2	7.1	6.2	4.3
週1日程度	250	30.0	26.4	4.4	6.4	4.0	2.4	3.2

	回答者数(人)	日本語での意思疎通が難しい外国人の対応	子どもの貧困の対応	犬猫の多頭飼育崩壊の対応	DVの対応	薬物依存症・アルコール依存症の対応	その他の課題	無回答
年代別								
30～50歳代	89	3.4	2.2	-	1.1	-	6.7	57.3
60歳代	233	3.9	2.6	1.7	0.9	0.9	7.3	39.9
70歳以上	258	5.0	3.1	3.5	0.4	0.8	5.4	28.3
民生児童委員としての活動年数別								
3年未満	150	2.0	0.7	0.7	0.7	0.7	3.3	52.7
3年以上6年未満	130	4.6	1.5	0.8	-	0.8	7.7	38.5
6年以上9年未満	87	4.6	4.6	2.3	1.1	2.3	9.2	29.9
9年以上12年未満	80	5.0	2.5	1.3	-	-	7.5	30.0
12年以上15年未満	41	-	2.4	4.9	-	-	2.4	31.7
15年以上	91	8.8	6.6	6.6	2.2	-	7.7	26.4
地区別								
中央地区	88	4.5	2.3	2.3	-	1.1	2.3	39.8
小田地区	110	7.3	2.7	1.8	-	-	7.3	29.1
大庄地区	80	7.5	2.5	7.5	3.8	-	7.5	38.8
立花地区	132	1.5	4.5	1.5	-	1.5	3.0	42.4
武庫地区	75	2.7	2.7	-	1.3	-	8.0	38.7
園田地区	93	3.2	1.1	1.1	-	1.1	11.8	34.4
活動頻度別								
ほぼ毎日	31	19.4	6.5	-	-	-	9.7	12.9
週2～3日	211	5.2	4.3	4.3	0.5	1.4	7.6	28.4
週1日程度	250	2.4	1.2	1.2	1.2	-	4.0	41.2

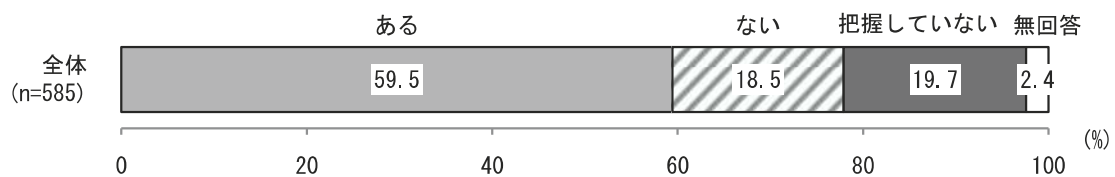
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 定期的に話し合う場の有無

(問3) 担当区域の生活・福祉課題を解決するために関係機関や関係者が集まり定期的に話し合う場はありますか。(○は1つ)

- ・定期的に話し合う場の有無については、「ある」が59.5%で最も多く、次いで「把握していない」が19.7%、「ない」が18.5%となっています。
- ・年代別でみると、「ある」の割合は60歳代が60.9%で最も高くなっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、「ある」の割合は3年未満が64.7%で最も高く、次いで15年以上が63.7%となっています。
- ・活動頻度別でみると、「ある」の割合はほぼ毎日が64.5%で最も高くなっています。



	回答者数 (人)	ある	ない	把握していない	無回答
年代別					
30～50歳代	89	57.3	13.5	28.1	1.1
60歳代	233	60.9	16.7	19.7	2.6
70歳以上	258	58.9	21.7	17.1	2.3
民生児童委員としての活動年数別					
3年未満	150	64.7	4.7	29.3	1.3
3年以上6年未満	130	58.5	20.8	19.2	1.5
6年以上9年未満	87	49.4	27.6	20.7	2.3
9年以上12年未満	80	60.0	26.3	10.0	3.8
12年以上15年未満	41	58.5	19.5	17.1	4.9
15年以上	91	63.7	20.9	13.2	2.2
活動頻度別					
ほぼ毎日	31	64.5	16.1	12.9	6.5
週2～3日	211	59.7	21.8	17.1	1.4
週1日程度	250	61.2	17.6	18.8	2.4

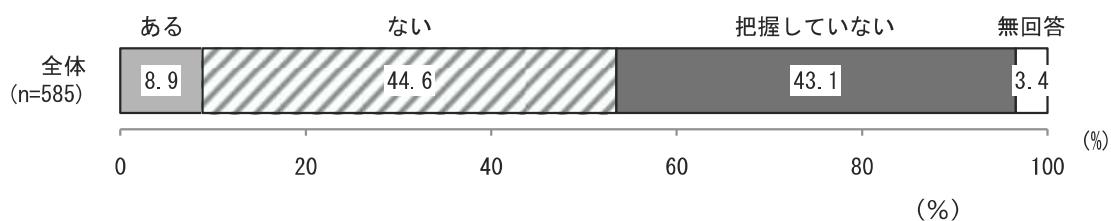
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 必要な支援を受けていない又は拒否している事例の有無

(問4) 担当区域において、支援が必要だとは思っているものの、支援を受けていない又は拒否している事例はありますか。(〇は1つ)

- ・支援を受けていない又は拒否している事例の有無については、「ない」が44.6%で最も多く、次いで「把握していない」が43.1%、「ある」が8.9%となっています。
- ・地区別でみると、「ある」の割合は園田地区が12.9%で最も高く、次いで武庫地区が9.3%となっています。
- ・活動頻度別でみると、「ある」と「ない」の割合はいずれもほぼ毎日が最も高くなっています。



	回答者数(人)	ある	ない	把握していない	無回答
地区別					
中央地区	88	4.5	52.3	40.9	2.3
小田地区	110	9.1	39.1	48.2	3.6
大庄地区	80	7.5	52.5	37.5	2.5
立花地区	132	9.1	46.2	43.2	1.5
武庫地区	75	9.3	40.0	44.0	6.7
園田地区	93	12.9	38.7	43.0	5.4
活動頻度別					
ほぼ毎日	31	22.6	61.3	16.1	-
週2～3日	211	12.8	48.8	32.7	5.7
週1日程度	250	4.0	44.8	49.6	1.6

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 必要な支援を受けていない又は拒否している理由

問4で「1」と回答した方に

(問4-1) わかる範囲で結構ですので、支援を受けていない又は拒否している理由を教えてください。

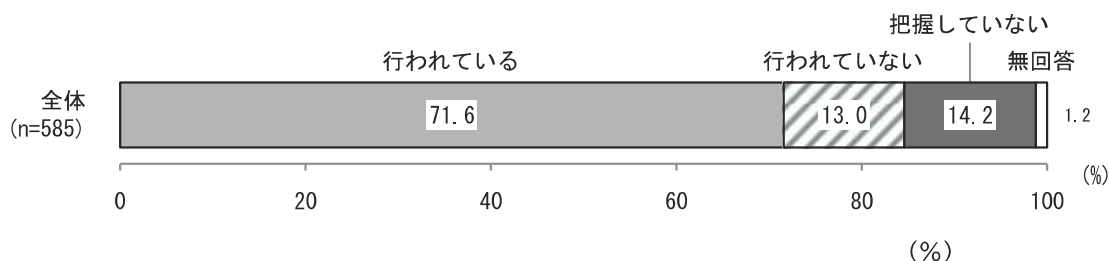
【主な意見を抜粋】

- 独居高齢者が包括センターや民生委員の援助を拒否する。
- 他人の世話になりたくない。
- 精神疾患のため。
- 人が家に入るのが嫌
- 本人のプライドが高く、世話になりたくないという考えのため
- 近くに親族等が居住している
- ゴミ屋敷問題、当事者意識の欠如
- 必要がないと言われる。
- 等

（５）担当区域での地域福祉活動の実施状況

（問５）担当区域で地域福祉活動（ふれあい喫茶や老人給食、子育てサロンなどの集いの場や高齢者等の見守り活動など）が行われていますか。（○は１つ）

- ・担当区域での地域福祉活動の実施状況については、「行われている」が71.6%で最も多く、次いで「把握していない」が14.2%、「行われていない」が13.0%となっています。
- ・活動頻度別でみると、「行われている」の割合は活動頻度が多いほど割合が高く、ほぼ毎日が83.9%で最も高くなっています。



	回答者数 (人)	行 わ れ て い る	行 わ れ て い な い	把 握 し て い な い	無 回 答
活動頻度別					
ほぼ毎日	31	83.9	6.5	6.5	3.2
週２～３日	211	75.4	14.7	9.0	0.9
週１日程度	250	73.2	13.2	12.8	0.8

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

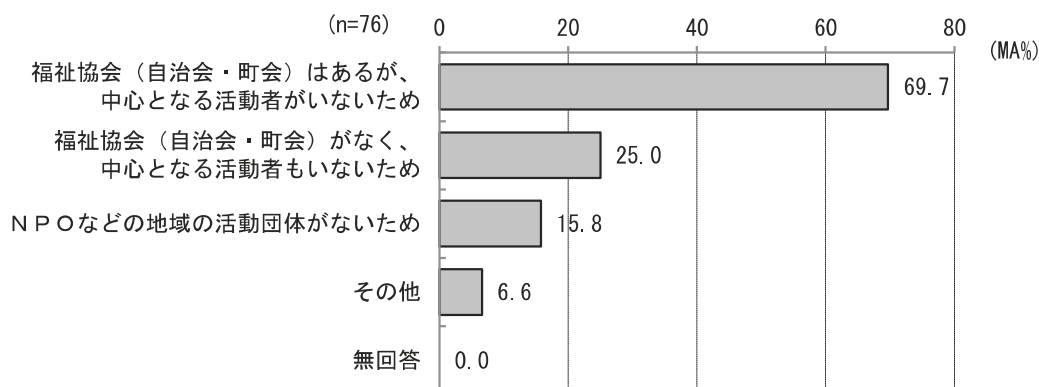
※１番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、２番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

（６）地域福祉活動が行われていない理由

問５で「２」と回答した方に

（問５－１）地域福祉活動が行われていない理由は何だと思われますか。（○はいくつでも）

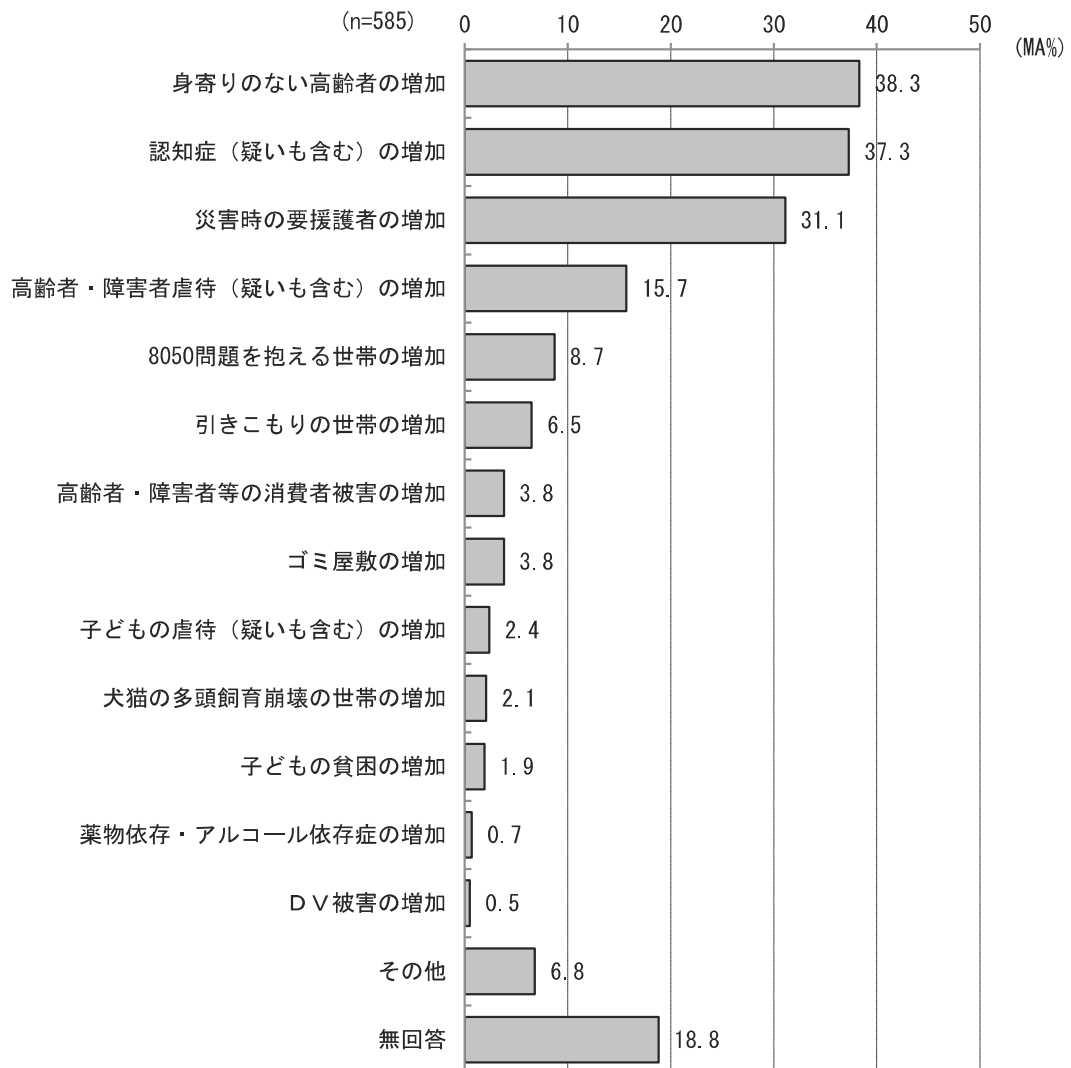
- ・地域福祉活動が行われていないと回答した人に、その理由をたずねると、「福祉協会（自治会・町会）はあるが、中心となる活動者がいないため」が69.7%で最も多く、次いで「福祉協会（自治会・町会）がなく、中心となる活動者もいないため」が25.0%、「NPOなどの地域の活動団体がないため」が15.8%となっています。



(7) 担当区域の生活・福祉課題

(問6) 民生児童委員活動を通して把握している担当区域の生活・福祉課題は何ですか。(〇はいくつでも)

・担当区域の生活・福祉課題については、「身寄りのない高齢者の増加」が38.3%で最も多く、次いで「認知症（疑いも含む）の増加」が37.3%、「災害時の要援護者の増加」が31.1%となっています。



- ・年代別でみると、「身寄りのない高齢者の増加」、「認知症（疑いも含む）の増加」、「災害時の要援護者の増加」、「8050問題を抱える世帯の増加」はいずれも年齢が上がるほど割合が高く、70歳以上が最も高くなっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、「身寄りのない高齢者の増加」、「認知症（疑いも含む）の増加」の割合はいずれも9年以上12年未満が最も高く、5割台となっています。

(MA%)

	回答者数 (人)	加身寄りのない 高齢者の増	加認知症(疑い も含む)の増	災害時の要 援護者の増	高齢者・障 害者虐待(疑 いも含む)の 増加	8050問題 を抱える世 帯の増加	引きこも りの世帯の 増加	高齢者・障 害者等の消 費者の増加	ゴミ屋敷 の増加
年代別									
30～50歳代	89	29.2	25.8	18.0	13.5	6.7	4.5	2.2	3.4
60歳代	233	37.3	36.5	29.6	16.3	8.6	7.3	4.3	3.0
70歳以上	258	43.0	41.5	37.6	15.9	9.7	6.2	3.9	4.7
民生児童委員としての活動年数別									
3年未満	150	30.0	22.0	22.7	24.0	4.7	4.7	2.0	3.3
3年以上6年未満	130	35.4	38.5	27.7	10.0	6.9	3.1	6.2	2.3
6年以上9年未満	87	42.5	44.8	40.2	13.8	10.3	8.0	4.6	5.7
9年以上12年未満	80	51.3	53.8	36.3	18.8	12.5	6.3	3.8	5.0
12年以上15年未満	41	41.5	46.3	31.7	2.4	14.6	7.3	2.4	2.4
15年以上	91	41.8	36.3	38.5	15.4	11.0	12.1	3.3	3.3

	回答者数 (人)	子どもの虐待 (疑いも含 む)の増加	犬猫の多頭 飼育崩壊の 世帯の増加	子どもの貧 困の増加	薬物依存・ アルコール 依存症の増 加	DV被害の 増加	その他	無回答
年代別								
30～50歳代	89	3.4	-	1.1	-	1.1	10.1	20.2
60歳代	233	3.4	2.6	3.0	0.9	0.4	7.3	22.3
70歳以上	258	1.2	2.3	1.2	0.8	0.4	5.4	15.1
民生児童委員としての活動年数別								
3年未満	150	2.7	0.7	0.7	0.7	0.7	7.3	30.7
3年以上6年未満	130	0.8	1.5	-	0.8	-	7.7	16.2
6年以上9年未満	87	2.3	1.1	1.1	1.1	-	6.9	12.6
9年以上12年未満	80	1.3	3.8	1.3	1.3	-	3.8	11.3
12年以上15年未満	41	2.4	4.9	4.9	-	-	4.9	17.1
15年以上	91	5.5	3.3	6.6	-	2.2	8.8	14.3

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・地区別でみると、「身寄りのない高齢者の増加」、「災害時の要援護者の増加」、「8050問題を抱える世帯の増加」、「高齢者・障害者等の消費者被害の増加」、「子どもの貧困の増加」の割合はいずれも園田地区が最も高くなっています。
- ・活動頻度別でみると、「認知症（疑いも含む）の増加」の割合はほぼ毎日が51.6%で最も高くなっています。

(MA%)

	回答者数（人）	加身寄りのない高齢者の増	加認知症（疑いも含む）の増	災害時の要援護者の増加	高齢者・障害者虐待（疑いも含む）の増加	8050問題を抱える世帯の増加	引きこもりの世帯の増加	高齢者・障害者等の消費者被害の増加	ゴミ屋敷の増加
地区別									
中央地区	88	37.5	30.7	26.1	22.7	9.1	6.8	4.5	4.5
小田地区	110	37.3	38.2	37.3	14.5	9.1	2.7	2.7	1.8
大庄地区	80	41.3	47.5	30.0	10.0	5.0	10.0	3.8	1.3
立花地区	132	37.1	33.3	30.3	17.4	9.1	4.5	4.5	4.5
武庫地区	75	38.7	38.7	22.7	18.7	6.7	12.0	1.3	6.7
園田地区	93	41.9	38.7	38.7	10.8	12.9	5.4	5.4	4.3
活動頻度別									
ほぼ毎日	31	38.7	51.6	32.3	16.1	22.6	12.9	6.5	16.1
週2～3日	211	39.8	46.4	38.9	15.6	7.1	8.1	5.2	3.8
週1日程度	250	40.8	34.8	28.8	14.0	9.2	4.4	2.4	2.8

	回答者数（人）	子どもの虐待（疑いも含む）の増加	犬猫の多頭飼育崩壊の世帯の増加	子どもの貧困の増加	薬物依存・アルコール依存症の増加	DV被害の増加	その他	無回答
地区別								
中央地区	88	-	3.4	1.1	1.1	1.1	3.4	20.5
小田地区	110	3.6	1.8	1.8	-	-	4.5	17.3
大庄地区	80	-	3.8	-	-	2.5	7.5	16.3
立花地区	132	3.8	2.3	3.0	2.3	-	9.1	18.2
武庫地区	75	4.0	1.3	1.3	-	-	9.3	17.3
園田地区	93	2.2	-	3.2	-	-	7.5	21.5
活動頻度別								
ほぼ毎日	31	12.9	-	9.7	-	-	6.5	9.7
週2～3日	211	0.9	4.3	2.4	0.9	0.5	7.1	13.3
週1日程度	250	2.0	0.8	1.2	0.4	0.8	4.8	18.8

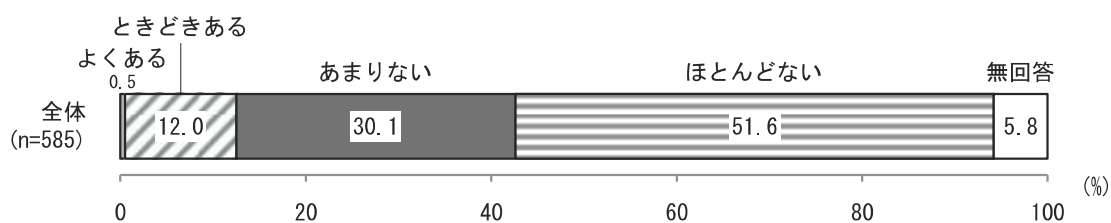
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(8) 複数の課題が重なった支援困難な事例の有無

(問7) あなたが支援をしている対象者又は世帯に、複数の課題(生活困窮、障害・介護サービスが必要な状況、引きこもり、虐待等)が重なり、支援困難な事例がありますか。
(○は1つ)

- ・複数の課題が重なった支援困難な事例の有無については、「ほとんどない」が51.6%で最も多く、次いで「あまりない」が30.1%、「ときどきある」が12.0%、「よくある」が0.5%となっています。
- ・地区別でみると、「ほとんどない」の割合は小田地区が60.9%で最も高く、次いで園田地区が53.8%となっています。
- ・活動頻度別でみると、「よくある」と「ときどきある」の割合はほぼ毎日で最も高くなっています。



	回答者数(人)	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	無回答
地区別						
中央地区	88	-	17.0	33.0	47.7	2.3
小田地区	110	-	12.7	21.8	60.9	4.5
大庄地区	80	-	11.3	33.8	47.5	7.5
立花地区	132	0.8	7.6	37.9	44.7	9.1
武庫地区	75	1.3	12.0	29.3	53.3	4.0
園田地区	93	1.1	14.0	24.7	53.8	6.5
活動頻度別						
ほぼ毎日	31	6.5	19.4	38.7	35.5	-
週2～3日	211	0.5	16.6	36.0	43.6	3.3
週1日程度	250	-	8.8	28.4	56.4	6.4

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

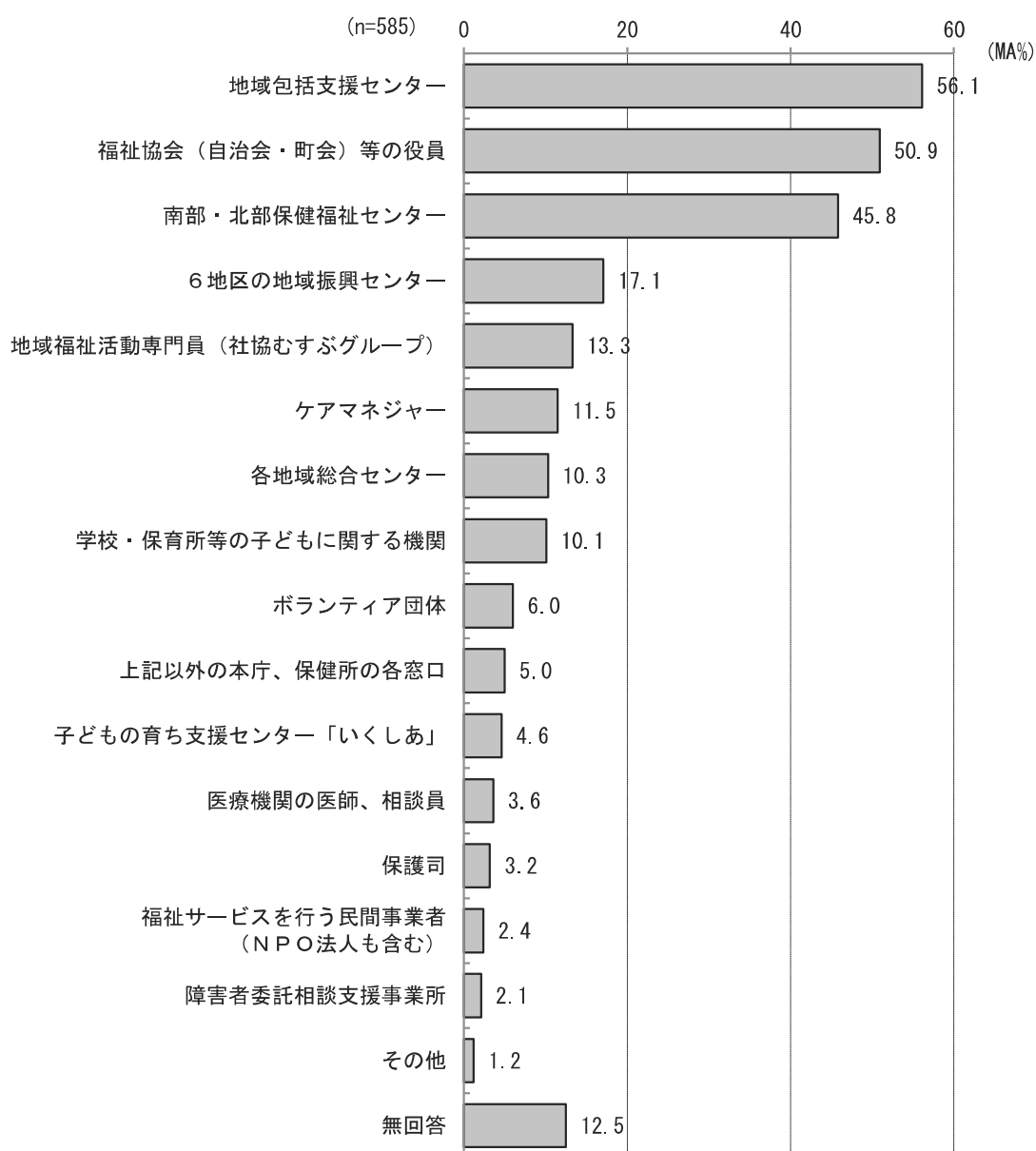
4. 他の関係機関との連携について

(1) 関係機関との連携

(問8) あなたの関係機関との連携に関して、
 ① 普段の活動の中で相談したり連携しているところ
 ② これからの活動の中で新たに相談や連携をしたいところ として、
 1～16の選択肢の中からあてはまるものについて、太枠内に○をつけてください。
 (○はいくつでも)

① 普通の活動

・普段の活動の中で相談したり連携しているところについては、「地域包括支援センター」が56.1%で最も多く、次いで「福祉協会（自治会・町会）等の役員」が50.9%、「南部・北部保健福祉センター」が45.8%となっています。



- ・年代別でみると、30～50歳代では「福祉協会（自治会・町会）等の役員」が49.4%で最も多くなっていますが、60歳代、70歳以上では「地域包括支援センター」が最も多く、過半数を占めています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、6年未満までは「福祉協会（自治会・町会）等の役員」が最も多くなっていますが、6年以上活動している人では「地域包括支援センター」が最も多くなっています。

(MA%)

	回答者数（人）	地域包括支援センター	福祉協会（自治会・町会）等の役員	南部・北部保健福祉センター	6地区の地域振興センター	地域福祉活動専門員（社協むすぶグループ）	ケアマネジャー	各地域総合センター	学校・保育所等の子どもに関する機関	ボランティア団体
年代別										
30～50歳代	89	38.2	49.4	46.1	12.4	5.6	3.4	6.7	13.5	5.6
60歳代	233	57.5	51.5	47.2	12.4	11.6	11.6	8.2	9.9	6.9
70歳以上	258	60.9	51.6	44.6	23.3	17.4	14.3	13.6	8.9	5.4
民生児童委員としての活動年数別										
3年未満	150	28.7	47.3	36.7	8.7	9.3	6.0	8.0	5.3	7.3
3年以上6年未満	130	53.1	61.5	43.8	16.9	8.5	12.3	6.9	10.0	5.4
6年以上9年未満	87	69.0	52.9	56.3	13.8	9.2	10.3	10.3	12.6	6.9
9年以上12年未満	80	72.5	46.3	51.3	17.5	12.5	13.8	10.0	12.5	5.0
12年以上15年未満	41	63.4	61.0	46.3	31.7	19.5	9.8	17.1	7.3	-
15年以上	91	74.7	42.9	49.5	27.5	28.6	19.8	15.4	14.3	7.7

	回答者数（人）	上記以外の本庁、保健所の各窓口	子どもの育ち支援センター「いくしあ」	医療機関の医師、相談員	保護司	福祉サービスを行う民間事業者（NPO法人も含む）	障害者委託相談支援事業所	その他	無回答
年代別									
30～50歳代	89	2.2	7.9	4.5	4.5	1.1	1.1	1.1	14.6
60歳代	233	6.0	2.6	2.1	3.4	1.3	2.1	2.1	11.2
70歳以上	258	5.0	5.0	3.9	2.7	3.9	2.3	0.4	12.8
民生児童委員としての活動年数別									
3年未満	150	2.7	5.3	3.3	2.7	2.7	1.3	2.0	23.3
3年以上6年未満	130	2.3	3.1	2.3	3.1	2.3	2.3	2.3	12.3
6年以上9年未満	87	4.6	4.6	-	2.3	-	-	-	8.0
9年以上12年未満	80	7.5	5.0	5.0	3.8	6.3	5.0	-	6.3
12年以上15年未満	41	2.4	-	2.4	2.4	-	2.4	-	9.8
15年以上	91	12.1	7.7	6.6	5.5	2.2	2.2	1.1	5.5

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・地区別でみると、立花地区では「福祉協会（自治会・町会）等の役員」が最も多くなっていますが、それ以外の地区では「地域包括支援センター」が最も多くなっています。
- ・活動頻度別でみると、いずれも「地域包括支援センター」が最も多く、ほぼ毎日が74.2%で最も高くなっています。

(MA%)

	回答者数（人）	地域包括支援センター	福祉協会（自治会・町会）等の役員	南部・北部保健福祉センター	6地区の地域振興センター	地域福祉活動専門員（社協むすぶグループ）	ケアマネジャー	各地域総合センター	学校・保育所等の子どもに関する機関	ボランティア団体
地区別										
中央地区	88	53.4	48.9	47.7	17.0	13.6	10.2	8.0	8.0	6.8
小田地区	110	61.8	59.1	58.2	8.2	17.3	13.6	5.5	8.2	4.5
大庄地区	80	55.0	53.8	43.8	16.3	16.3	15.0	8.8	11.3	8.8
立花地区	132	50.0	60.6	44.7	17.4	7.6	12.9	18.9	9.1	5.3
武庫地区	75	53.3	36.0	32.0	29.3	20.0	6.7	12.0	8.0	4.0
園田地区	93	61.3	43.0	46.2	18.3	8.6	9.7	6.5	16.1	7.5
活動頻度別										
ほぼ毎日	31	74.2	45.2	64.5	38.7	22.6	12.9	19.4	25.8	9.7
週2～3日	211	67.3	58.3	51.2	19.9	17.1	16.1	11.4	11.8	7.1
週1日程度	250	54.4	51.2	43.6	13.6	11.2	7.6	7.2	8.0	4.8

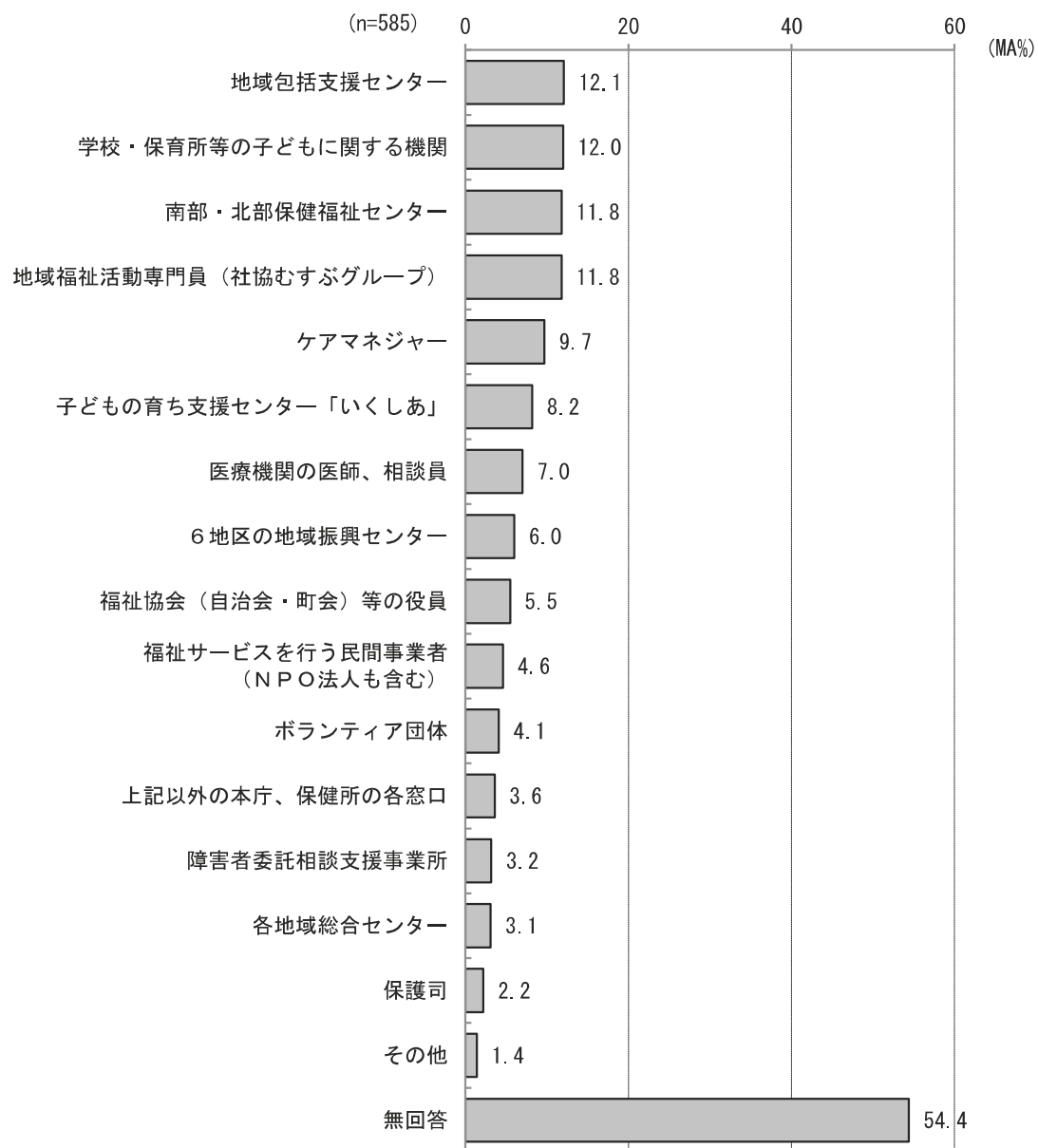
	回答者数（人）	上記以外の本庁、保健所の各窓口	子どもの育ち支援センター「いくしあ」	医療機関の医師、相談員	保護司	福祉サービスを行う民間事業者（NPO法人も含む）	障害者委託相談支援事業所	その他	無回答
地区別									
中央地区	88	8.0	2.3	2.3	5.7	1.1	3.4	1.1	10.2
小田地区	110	6.4	3.6	0.9	0.9	2.7	0.9	1.8	9.1
大庄地区	80	1.3	7.5	5.0	6.3	3.8	1.3	1.3	18.8
立花地区	132	4.5	3.8	6.1	3.8	2.3	3.8	1.5	7.6
武庫地区	75	2.7	5.3	2.7	-	1.3	1.3	1.3	13.3
園田地区	93	5.4	6.5	2.2	3.2	3.2	1.1	-	19.4
活動頻度別									
ほぼ毎日	31	16.1	9.7	12.9	3.2	6.5	3.2	3.2	6.5
週2～3日	211	7.1	4.7	3.3	1.9	3.8	3.3	0.9	8.1
週1日程度	250	3.6	4.8	2.8	5.2	0.8	1.6	1.2	11.2

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 新たな連携先

・新たに相談や連携をしたいところについては、「地域包括支援センター」が12.1%で最も多く、次いで「学校・保育所等の子どもに関する機関」が12.0%、「南部・北部保健福祉センター」と「地域福祉活動専門員（社協むすぶグループ）」がそれぞれ11.8%となっています。



- ・年代別でみると、30～50歳代では「学校・保育所等の子どもに関する機関」が21.3%で最も多くなっていますが、60歳代では「南部・北部保健福祉センター」が12.9%、70歳以上では「地域包括支援センター」が10.9%で最も多くなっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、3年未満、3年以上6年未満では「地域包括支援センター」が最も多くなっています。

(MA%)

	回答者数(人)	地域包括支援センター	学校・保育所等の子どもに関する機関	南部・北部保健福祉センター	地域福祉活動専門員(社協むすぶグループ)	ケアマネジャー	子どもの育ち支援センター「いくしあ」	医療機関の医師、相談員	6地区の地域振興センター	福祉協会(自治会・町会)等の役員
年代別										
30～50歳代	89	16.9	21.3	15.7	20.2	9.0	12.4	3.4	4.5	4.5
60歳代	233	12.0	11.2	12.9	10.7	11.2	9.0	9.0	9.0	8.2
70歳以上	258	10.9	9.7	9.7	9.7	8.9	6.2	6.6	3.9	3.5
民生児童委員としての活動年数別										
3年未満	150	23.3	13.3	16.7	16.7	11.3	7.3	6.0	8.7	8.0
3年以上6年未満	130	12.3	10.8	10.8	8.5	3.8	7.7	3.8	3.1	5.4
6年以上9年未満	87	6.9	12.6	10.3	9.2	12.6	9.2	9.2	10.3	12.6
9年以上12年未満	80	6.3	13.8	7.5	13.8	16.3	10.0	8.8	6.3	-
12年以上15年未満	41	4.9	4.9	9.8	9.8	9.8	12.2	12.2	2.4	2.4
15年以上	91	7.7	13.2	12.1	11.0	7.7	6.6	7.7	3.3	1.1

	回答者数(人)	福祉サービスを行う民間事業者(NPO法人も含む)	ボランティア団体	上記以外の本庁、保健所の各窓口	障害者委託相談支援事業所	各地域総合センター	保護司	その他	無回答
年代別									
30～50歳代	89	4.5	6.7	2.2	2.2	1.1	3.4	2.2	42.7
60歳代	233	4.7	1.7	4.7	3.9	5.2	3.4	1.7	48.5
70歳以上	258	4.7	5.4	3.1	3.1	1.9	0.8	0.8	63.2
民生児童委員としての活動年数別									
3年未満	150	4.0	4.7	3.3	3.3	5.3	3.3	2.7	48.0
3年以上6年未満	130	2.3	1.5	1.5	2.3	1.5	0.8	0.8	57.7
6年以上9年未満	87	5.7	4.6	5.7	2.3	3.4	3.4	3.4	42.5
9年以上12年未満	80	5.0	7.5	7.5	6.3	2.5	1.3	-	58.8
12年以上15年未満	41	2.4	7.3	2.4	-	-	-	-	61.0
15年以上	91	8.8	2.2	2.2	4.4	3.3	3.3	-	61.5

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・地区別でみると、中央地区では「南部・北部保健福祉センター」が14.8%で最も多く、小

田地区では「ケアマネジャー」が17.3%、武庫地区では「地域包括支援センター」が17.3%でそれぞれ最も多くなっています。

- ・活動頻度別でみると、ほぼ毎日と週2～3日では「学校・保育所等の子どもに関する機関」が最も多くなっていますが、ほぼ毎日では「医療機関の医師、相談員」も同率の16.1%で最も多くなっています。

(MA%)

	回答者数(人)	地域包括支援センター	学校・保育所等の子どもに関する機関	南部・北部保健福祉センター	地域福祉活動専門員(社協むすぶグループ)	ケアマネジャー	子どもの育ち支援センター「いくしあ」	医療機関の医師、相談員	6地区の地域振興センター	福祉協会(自治会・町会)等の役員
地区別										
中央地区	88	11.4	11.4	14.8	6.8	6.8	2.3	4.5	4.5	5.7
小田地区	110	12.7	11.8	14.5	10.9	17.3	10.0	6.4	7.3	7.3
大庄地区	80	8.8	6.3	11.3	11.3	11.3	11.3	7.5	7.5	3.8
立花地区	132	13.6	15.9	13.6	16.7	7.6	9.1	6.1	5.3	5.3
武庫地区	75	17.3	12.0	4.0	14.7	8.0	4.0	6.7	5.3	6.7
園田地区	93	9.7	12.9	10.8	9.7	7.5	11.8	11.8	6.5	4.3
活動頻度別										
ほぼ毎日	31	3.2	16.1	6.5	12.9	6.5	12.9	16.1	3.2	3.2
週2～3日	211	11.4	11.8	11.4	10.9	10.9	9.5	7.1	5.7	4.3
週1日程度	250	14.4	11.6	12.0	12.8	10.8	7.6	6.4	6.4	6.4

	回答者数(人)	福祉サービスを行う民間事業者(NPO法人も含む)	ボランティア団体	上記以外の本庁、保健所の各窓口	障害者委託相談支援事業所	各地域総合センター	保護司	その他	無回答
地区別									
中央地区	88	6.8	3.4	5.7	3.4	4.5	3.4	-	62.5
小田地区	110	4.5	4.5	2.7	2.7	3.6	1.8	-	51.8
大庄地区	80	3.8	2.5	3.8	-	1.3	-	-	60.0
立花地区	132	3.0	5.3	5.3	5.3	1.5	3.8	3.8	46.2
武庫地区	75	4.0	1.3	1.3	2.7	5.3	2.7	2.7	56.0
園田地区	93	6.5	6.5	2.2	4.3	3.2	1.1	1.1	51.6
活動頻度別									
ほぼ毎日	31	-	3.2	3.2	6.5	3.2	-	-	61.3
週2～3日	211	5.7	3.3	5.2	3.3	2.4	2.4	0.9	53.6
週1日程度	250	5.6	4.8	2.0	3.2	2.8	2.4	0.4	53.2

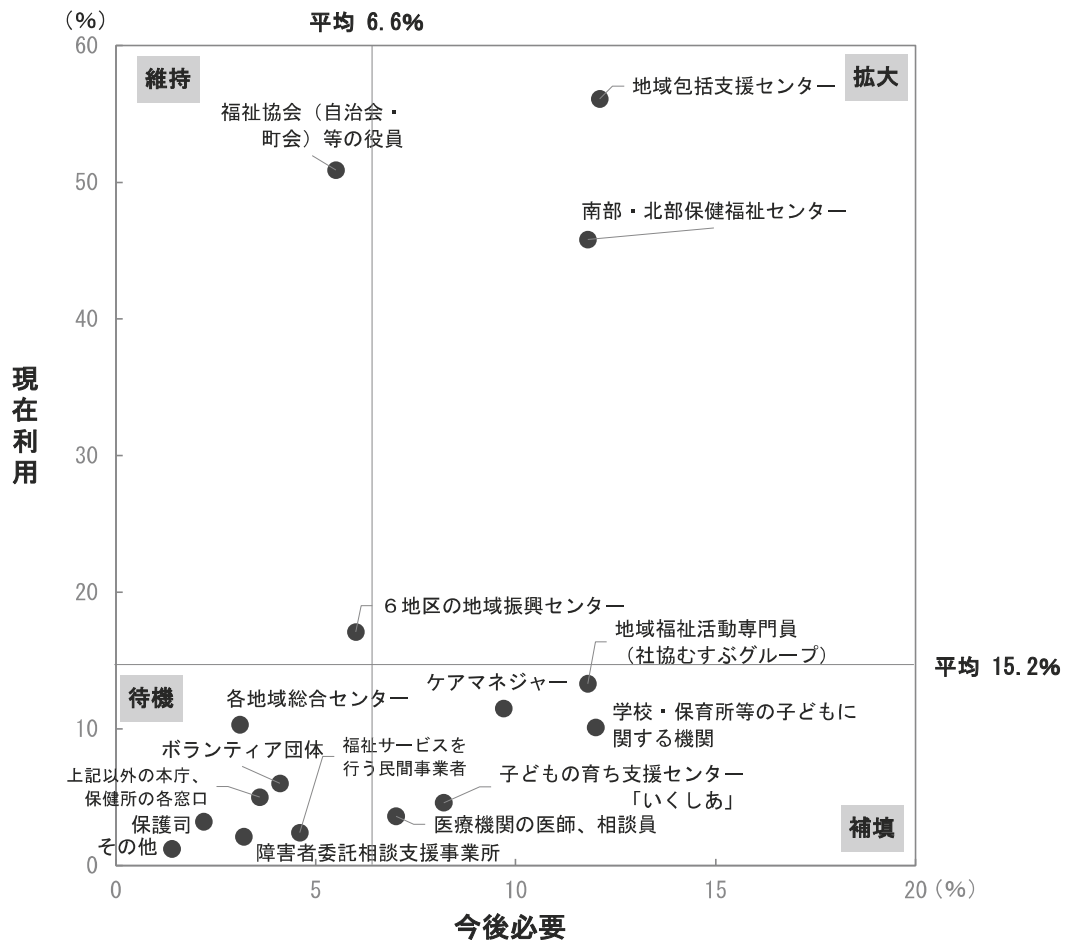
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

③ 現在の相談・協力先と今後必要となる相談・連携先の4象限分析

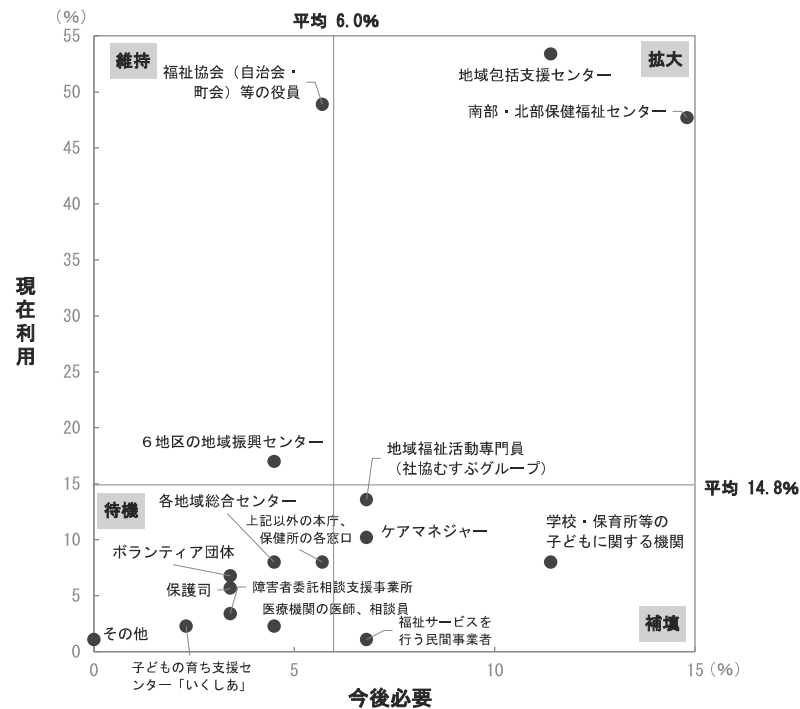
《市全体》

- ・現在の利用度も今後の利用度も高い『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「南部・北部保健福祉センター」がみられます。
- ・現在の利用度は低いが今後の利用度が高い『補填』領域には、「学校・保育所等の子どもに関する機関」、「地域福祉活動専門員（社協むすぶグループ）」、「ケアマネジャー」、「子どもの育ち支援センター「いくしあ」、「医療機関の医師、相談員」がみられます。



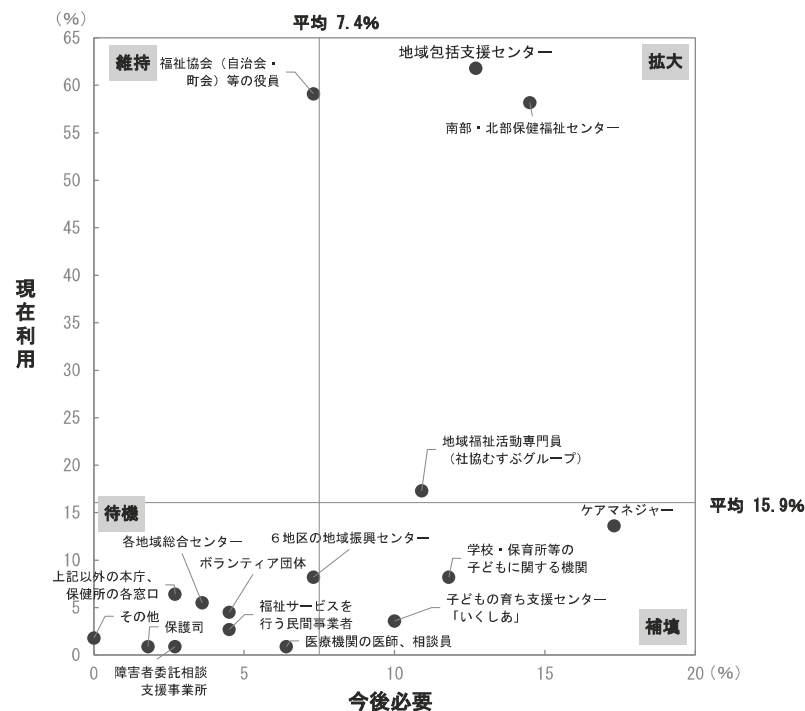
《中央地区》

- ・中央地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「南部・北部保健福祉センター」、「補填」領域には「地域福祉活動専門員(社協むすぶグループ)」、「ケアマネジャー」「福祉サービスを行う民間事業者(NPO法人も含む)」、「学校・保育所等の子どもに関する機関」がみられます。



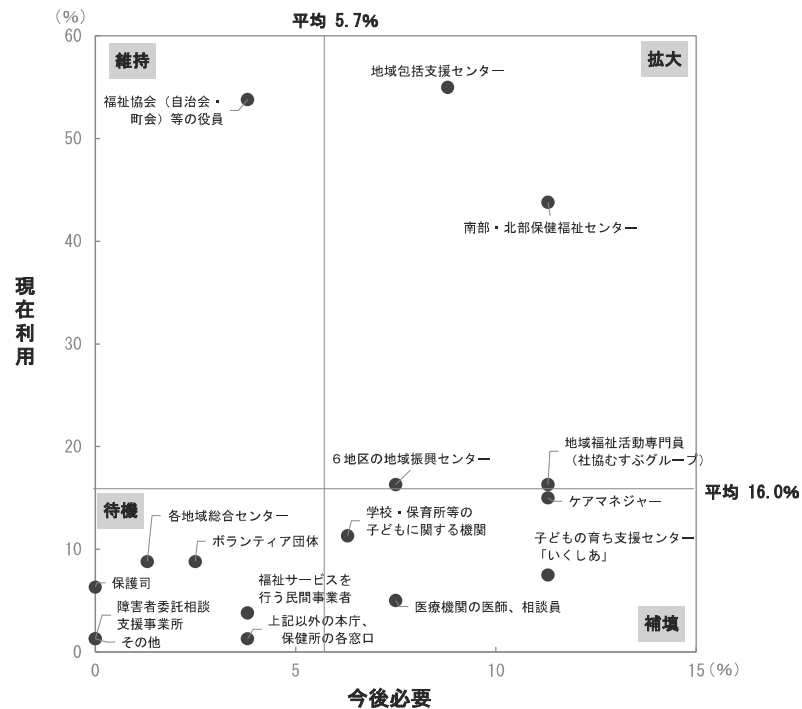
《小田地区》

- ・小田地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「南部・北部保健福祉センター」、「地域福祉活動専門員(社協むすぶグループ)」、「補填」領域には「ケアマネジャー」、「学校・保育所等の子どもに関する機関」、「子どもの育ち支援センター「いくしあ」」がみられます。



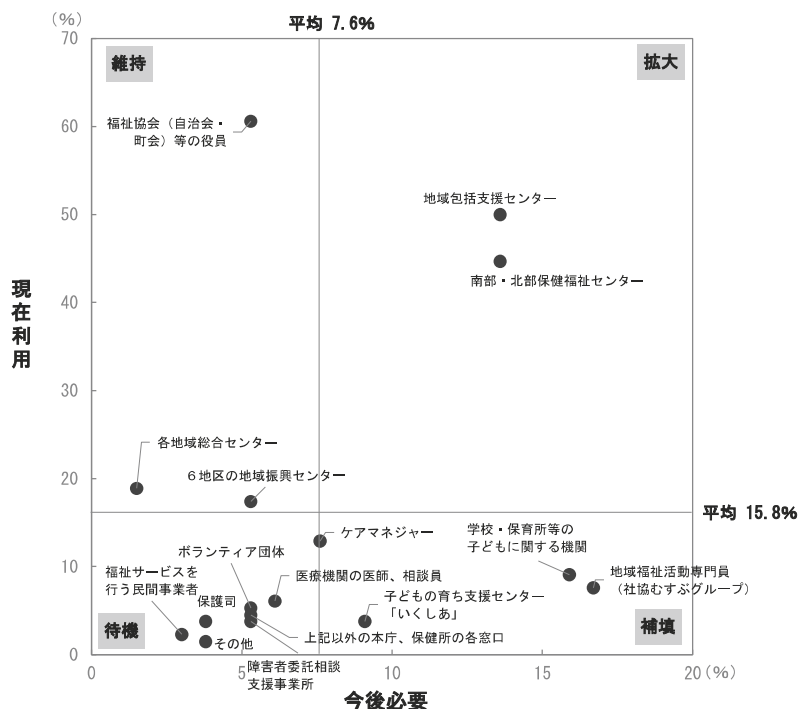
《大庄地区》

- ・大庄地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「南部・北部保健福祉センター」、「地域福祉活動専門員（社協むすぶグループ）」、「6地区の地域振興センター」、『補填』領域には「ケアマネジャー」、「子どもの育ち支援センター「いくしあ」」、「医療機関の医師、相談員」、「学校・保育所等の子どもに関する機関」がみられます。



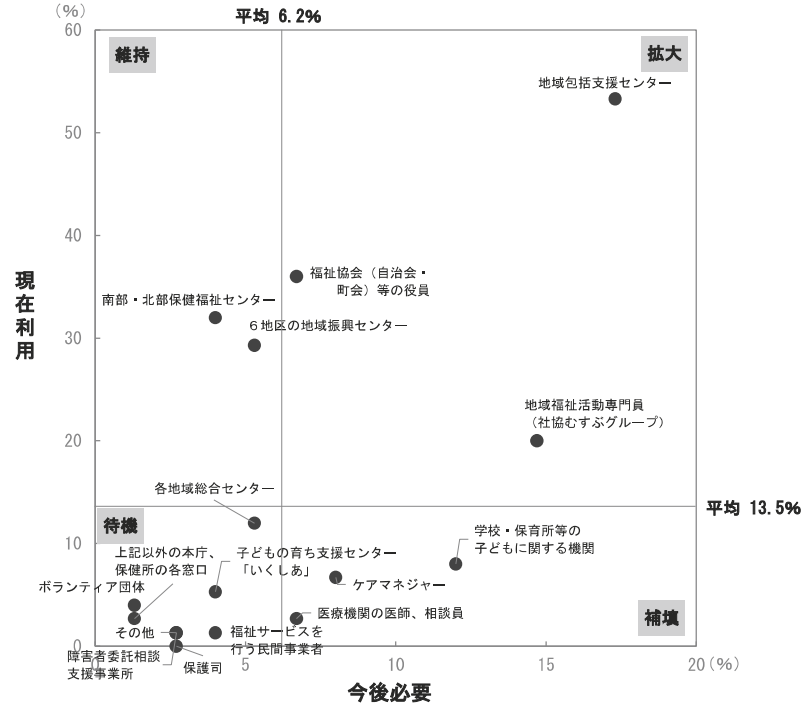
《立花地区》

- ・立花地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「南部・北部保健福祉センター」、『補填』領域には「地域福祉活動専門員（社協むすぶグループ）」、「学校・保育所等の子どもに関する機関」、「子どもの育ち支援センター「いくしあ」」がみられます。



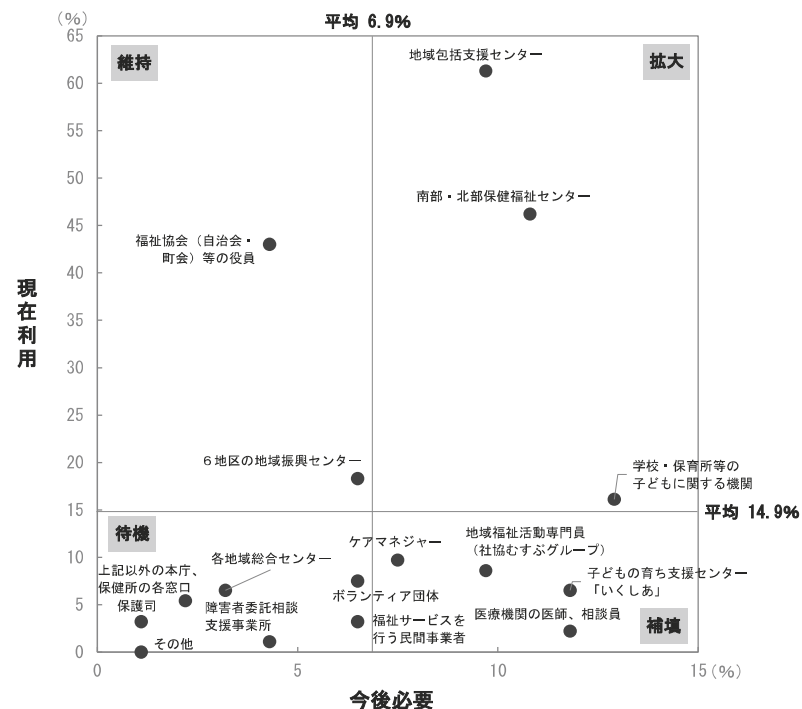
《武庫地区》

- ・武庫地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「地域福祉活動専門員（社協むすぶグループ）」、「福祉協会（自治会・町会）等の役員」、『補填』領域には「学校・保育所等の子どもに関する機関」、「ケアマネジャー」、「医療機関の医師、相談員」がみられます。



《園田地区》

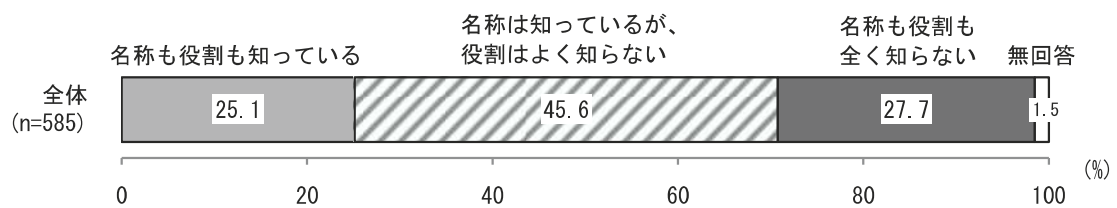
- ・園田地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「南部・北部保健福祉センター」、「学校・保育所等の子どもに関する機関」、『補填』領域には「子どもの育ち支援センター「いくしあ」」、「医療機関の医師、相談員」、「地域福祉活動専門員（社協むすぶグループ）」、「ケアマネジャー」、がみられます。



（２）ささえあい地域活動センター「むすぶ」の認知度

（問９）社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会では、住民同士がささえあう・助け合う地域づくりを進めるため、各６地区に、ささえあい地域活動センター「むすぶ」を設置し、地域住民の様々な相談対応や、地域活動の立ち上げ支援、地域活動の担い手の育成等を行っているのをご存じですか。（○は１つ）

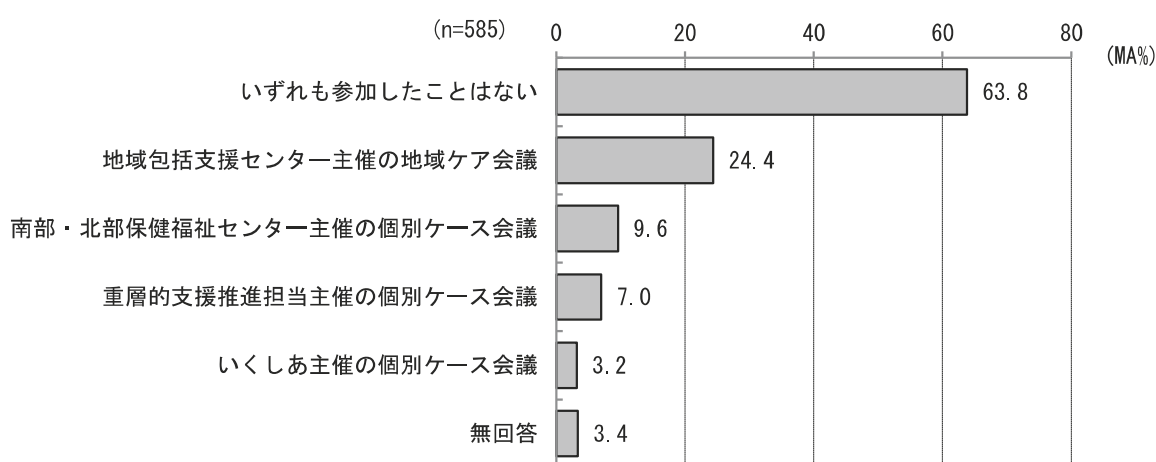
- ・ ささえあい地域活動センター「むすぶ」の認知度については、「名称は知っているが、役割はよく知らない」が45.6%で最も多く、次いで「名称も役割も全く知らない」が27.7%、「名称も役割も知っている」が25.1%となっています。



(3) 個別課題を支援するための関係機関が開催する会議への参加状況

(問10) 個別課題を支援するための関係機関が開催する会議のうち、参加したことがあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

- ・個別課題を支援するための関係機関が開催する会議への参加状況については、「いずれも参加したことはない」が63.8%で最も多く、次いで「地域包括支援センター主催の地域ケア会議」が24.4%、「南部・北部保健福祉センター主催の個別ケース会議」が9.6%、「重層的支援推進担当主催の個別ケース会議」が7.0%となっています。
- ・年代別でみると、「いずれも参加したことはない」の割合は30～50歳代が78.7%で最も高く、年齢が上がるにつれ割合が低くなっています。一方、その他の項目ではいずれも70歳以上で最も高くなっています。



		(MA%)					
	回答者数(人)	いづれも参加したことはない	地域包括支援センター主催の地域ケア会議	南部・北部保健福祉センター主催の個別ケース会議	重層的支援推進担当主催の個別ケース会議	いくしあ主催の個別ケース会議	無回答
年代別							
30～50歳代	89	78.7	10.1	5.6	-	-	5.6
60歳代	233	67.0	20.6	8.2	7.7	3.0	3.0
70歳以上	258	55.8	32.6	12.0	8.5	4.7	3.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・民生児童委員としての活動年数別については、「地域包括支援センター主催の地域ケア会議」の割合は活動年数が長くなるほど概ね割合が高くなり、12年以上15年未満が41.5%で最も高くなっています。「南部・北部保健福祉センター主催の個別ケース会議」の割合は15年以上が24.2%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「地域包括支援センター主催の地域ケア会議」の割合は大庄地区が35.0%で最も高く、「南部・北部保健福祉センター主催の個別ケース会議」の割合は中央地区と小田地区がともに13.6%で最も高くなっています。
- ・活動頻度別でみると、「地域包括支援センター主催の地域ケア会議」の割合はほぼ毎日が41.9%で最も高く、頻度が多い人ほど割合が高くなっています。

(MA%)

	回答者数(人)	いずれも参加したことはない	地域包括支援センター主催の地域ケア会議	南部・北部保健福祉センター主催の個別ケース会議	重層的支援推進担当主催の個別ケース会議	いくしあ主催の個別ケース会議	無回答
民生児童委員としての活動年数別							
3年未満	150	82.7	9.3	4.7	0.7	0.7	3.3
3年以上6年未満	130	69.2	23.8	5.4	3.1	0.8	3.1
6年以上9年未満	87	57.5	24.1	12.6	13.8	8.0	3.4
9年以上12年未満	80	60.0	26.3	7.5	12.5	3.8	3.8
12年以上15年未満	41	48.8	41.5	2.4	12.2	-	7.3
15年以上	91	42.9	39.6	24.2	8.8	7.7	2.2
地区別							
中央地区	88	59.1	21.6	13.6	8.0	9.1	5.7
小田地区	110	67.3	23.6	13.6	8.2	-	0.9
大庄地区	80	56.3	35.0	7.5	7.5	3.8	2.5
立花地区	132	73.5	18.9	3.0	3.8	2.3	3.0
武庫地区	75	62.7	22.7	8.0	2.7	1.3	5.3
園田地区	93	59.1	25.8	12.9	11.8	4.3	4.3
活動頻度別							
ほぼ毎日	31	45.2	41.9	19.4	12.9	-	-
週2～3日	211	59.2	30.3	11.4	9.5	3.8	2.4
週1日程度	250	66.0	21.2	8.8	6.4	3.6	3.2

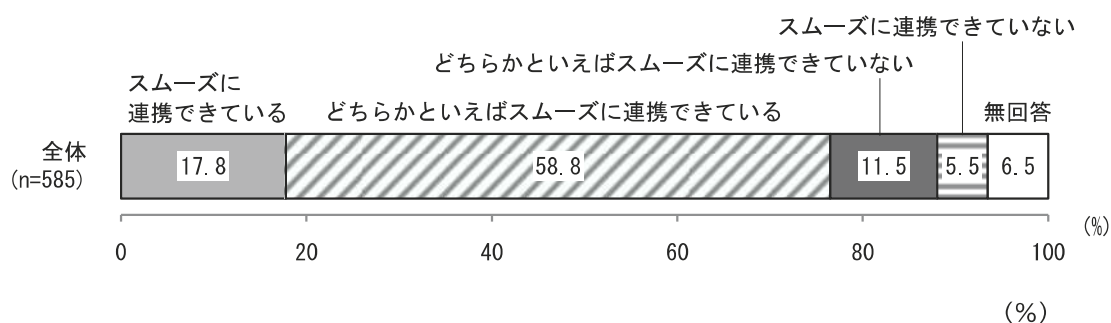
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 関係機関や地域の支援者との連携状況

(問11) 関係機関や地域の支援者との連携が必要な時に、スムーズに連携できていますか。
(○は1つ)

- ・関係機関や地域の支援者との連携状況については、「どちらかといえばスムーズに連携できている」が58.8%で最も多く、次いで「スムーズに連携できている」が17.8%、「どちらかといえばスムーズに連携できていない」が11.5%となっており、「どちらかといえばスムーズに連携できていない」と「スムーズに連携できていない」をあわせた『スムーズに連携できていない』の割合は17.0%となっています。
- ・年代別でみると、『スムーズに連携できていない』の割合は60歳代が21.5%で最も高く、次いで30～50歳代が21.3%となっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、『スムーズに連携できていない』の割合は3年未満が22.7%で最も高く、次いで6年以上9年未満が19.5%となっています。



	回答者数 (人)	スムーズに連携できている	どちらかといえばスムーズに連携できている	どちらかといえばスムーズに連携できていない	スムーズに連携できていない	無回答
年代別						
30～50歳代	89	15.7	52.8	14.6	6.7	10.1
60歳代	233	15.5	57.5	13.3	8.2	5.6
70歳以上	258	20.5	62.0	8.5	2.7	6.2
民生児童委員としての活動年数別						
3年未満	150	13.3	47.3	10.7	12.0	16.7
3年以上6年未満	130	19.2	60.0	13.1	4.6	3.1
6年以上9年未満	87	14.9	64.4	16.1	3.4	1.1
9年以上12年未満	80	22.5	58.8	10.0	5.0	3.8
12年以上15年未満	41	12.2	73.2	7.3	2.4	4.9
15年以上	91	22.0	65.9	8.8	-	3.3

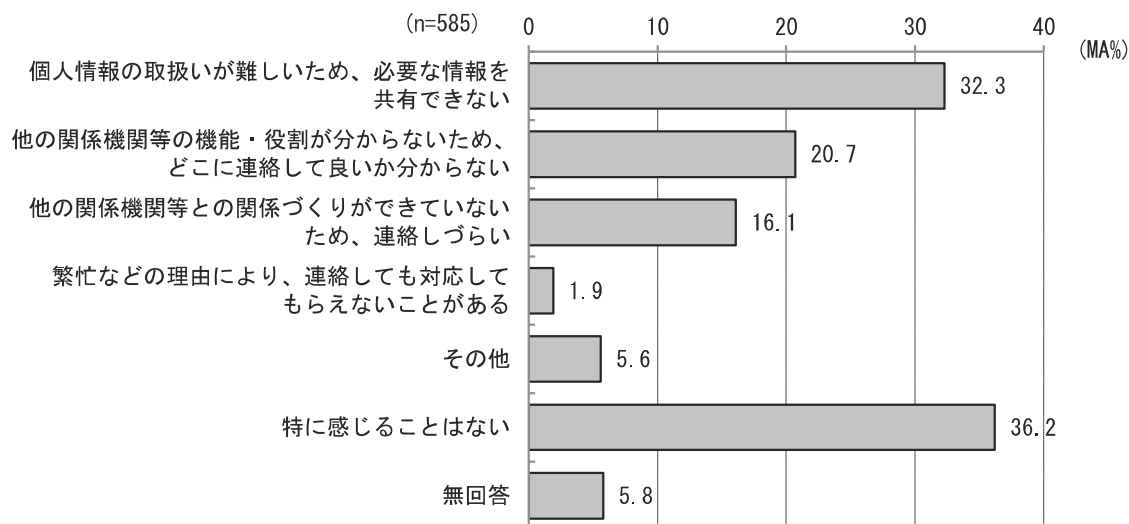
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 地域住民や他機関と相談、協働する際に課題に感じること

(問12) 地域住民や他の関係機関と相談、連携する際に、課題に感じることはありますか。
(○はいくつでも)

- ・地域住民や他機関と相談、協働する際に課題に感じることは、「個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない」が32.3%で最も多く、次いで「他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない」が20.7%、「他の関係機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい」が16.1%となっています。
- ・年代別でみると、「個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない」の割合は年齢が上がるにつれ割合が高くなり、70歳以上が36.4%で最も高くなっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、3年未満では「他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない」が24.7%で最も多いですが、3年以上活動している人ではいずれも「個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない」が最も多くなっています。
- ・地区別でみると、「他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない」の割合は大庄地区が25.0%で最も高く、「他の関係機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい」の割合は小田地区が20.0%で最も高くなっています。
- ・活動頻度別でみると、「個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない」と「他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない」の割合はほぼ毎日が最も高くなっています。



(MA%)

	回答者数(人)	個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない	他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない	他の関係機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい	繁忙などの理由により、連絡しても対応してもらえないことがある	その他	特に感じることはない	無回答
年代別								
30～50歳代	89	28.1	23.6	16.9	1.1	10.1	34.8	6.7
60歳代	233	29.6	22.7	17.2	2.6	5.6	35.6	5.2
70歳以上	258	36.4	17.8	14.7	1.6	4.3	36.4	6.2
民生児童委員としての活動年数別								
3年未満	150	20.7	24.7	12.7	2.7	9.3	37.3	12.0
3年以上6年未満	130	28.5	27.7	13.8	1.5	3.8	36.9	5.4
6年以上9年未満	87	40.2	19.5	16.1	1.1	6.9	36.8	-
9年以上12年未満	80	38.8	16.3	16.3	-	5.0	32.5	5.0
12年以上15年未満	41	39.0	12.2	19.5	4.9	4.9	34.1	4.9
15年以上	91	40.7	13.2	20.9	2.2	1.1	37.4	2.2
地区別								
中央地区	88	36.4	23.9	15.9	2.3	2.3	34.1	4.5
小田地区	110	35.5	14.5	20.0	1.8	9.1	31.8	3.6
大庄地区	80	36.3	25.0	11.3	1.3	2.5	32.5	8.8
立花地区	132	26.5	22.0	13.6	1.5	6.1	42.4	4.5
武庫地区	75	32.0	14.7	16.0	2.7	5.3	34.7	10.7
園田地区	93	30.1	23.7	18.3	2.2	6.5	37.6	5.4
活動頻度別								
ほぼ毎日	31	48.4	25.8	16.1	-	9.7	22.6	3.2
週2～3日	211	37.4	19.9	18.0	1.4	5.2	32.7	3.8
週1日程度	250	29.6	20.8	14.4	2.0	5.6	39.2	6.0

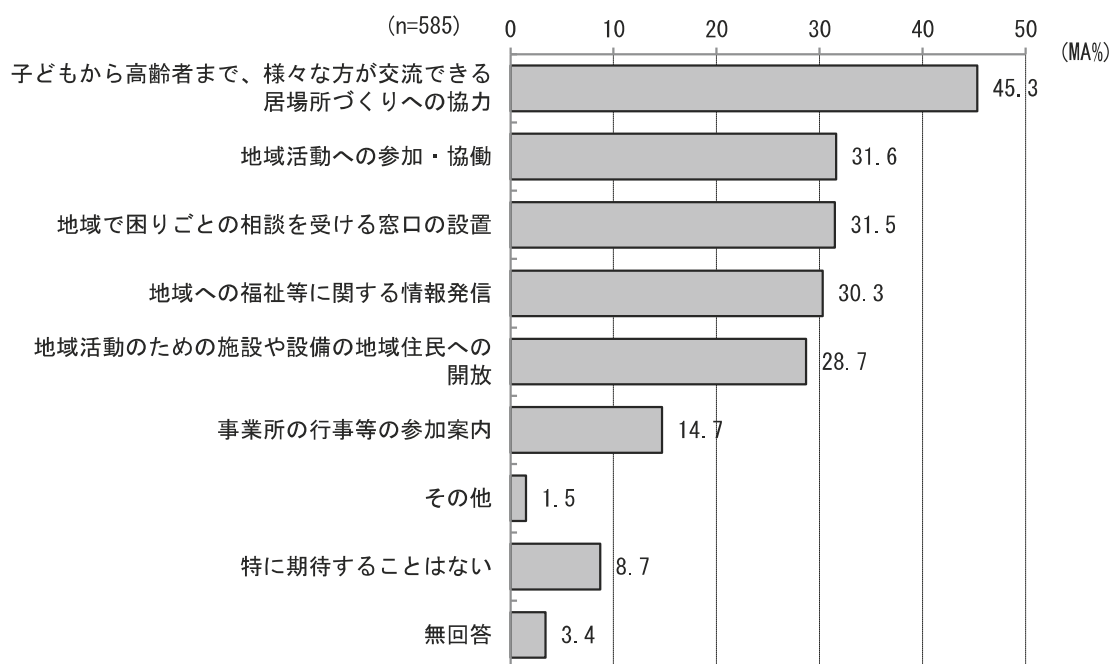
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) 地域の福祉事業者に期待すること

(問13) あなたが、地域の福祉事業者に期待することは何ですか。(○はいくつでも)

- ・地域の福祉事業者に期待することについては、「子どもから高齢者まで、様々な方が交流できる居場所づくりへの協力」が45.3%で最も多く、次いで「地域活動への参加・協働」が31.6%、「地域で困りごとの相談を受ける窓口の設置」が31.5%となっています。
- ・年代別でみると、30～50歳代では「地域で困りごとの相談を受ける窓口の設置」が44.9%で最も高くなっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、「子どもから高齢者まで、様々な方が交流できる居場所づくりへの協力」の割合は12年以上15年未満が61.0%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「子どもから高齢者まで、様々な方が交流できる居場所づくりへの協力」と「地域活動への参加・協働」の割合はともに立花地区で最も高く、「地域で困りごとの相談を受ける窓口の設置」と「地域活動のための施設や設備の地域住民への開放」は園田地区で最も高くなっています。
- ・活動頻度別でみると、「子どもから高齢者まで、様々な方が交流できる居場所づくりへの協力」と「地域活動への参加・協働」の割合はともにほぼ毎日で最も高くなっています。



(MA%)

	回答者数 (人)	子どもから高齢者まで、様々な方が 交流できる居場所づくりへの協力	地域活動への参加・協働	地域で困りごとの相談を受ける窓口 の設置	地域への福祉等に関する情報発信	地域活動のための施設や設備の地域 住民への開放	事業所の行事等の参加案内	その他	特に期待することはない	無回答
年代別										
30～50歳代	89	41.6	23.6	44.9	25.8	18.0	13.5	2.2	9.0	3.4
60歳代	233	43.8	27.0	33.0	29.2	30.9	13.7	1.3	10.3	3.0
70歳以上	258	48.1	38.4	25.6	32.6	30.2	15.9	1.6	7.0	3.9
民生児童委員としての活動年数別										
3年未満	150	47.3	30.7	33.3	27.3	30.7	16.7	2.0	9.3	4.7
3年以上6年未満	130	42.3	23.8	36.9	24.6	26.2	10.8	2.3	10.0	3.8
6年以上9年未満	87	39.1	24.1	29.9	28.7	23.0	9.2	1.1	10.3	1.1
9年以上12年未満	80	45.0	33.8	35.0	33.8	32.5	20.0	1.3	8.8	3.8
12年以上15年未満	41	61.0	46.3	26.8	26.8	29.3	9.8	-	12.2	2.4
15年以上	91	45.1	41.8	20.9	40.7	30.8	18.7	1.1	3.3	3.3
地区別										
中央地区	88	37.5	31.8	33.0	30.7	23.9	6.8	3.4	8.0	-
小田地区	110	44.5	30.0	33.6	31.8	29.1	16.4	0.9	10.0	2.7
大庄地区	80	47.5	30.0	31.3	26.3	28.8	15.0	-	8.8	5.0
立花地区	132	50.8	37.9	31.1	31.8	29.5	15.2	-	7.6	2.3
武庫地区	75	38.7	30.7	25.3	30.7	24.0	20.0	4.0	9.3	6.7
園田地区	93	48.4	26.9	34.4	29.0	34.4	14.0	2.2	9.7	5.4
活動頻度別										
ほぼ毎日	31	58.1	41.9	29.0	19.4	22.6	9.7	9.7	3.2	-
週2～3日	211	50.7	32.7	33.2	34.6	30.3	18.5	0.5	4.3	2.8
週1日程度	250	42.4	31.2	31.6	29.6	29.2	12.8	1.2	10.8	2.4

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

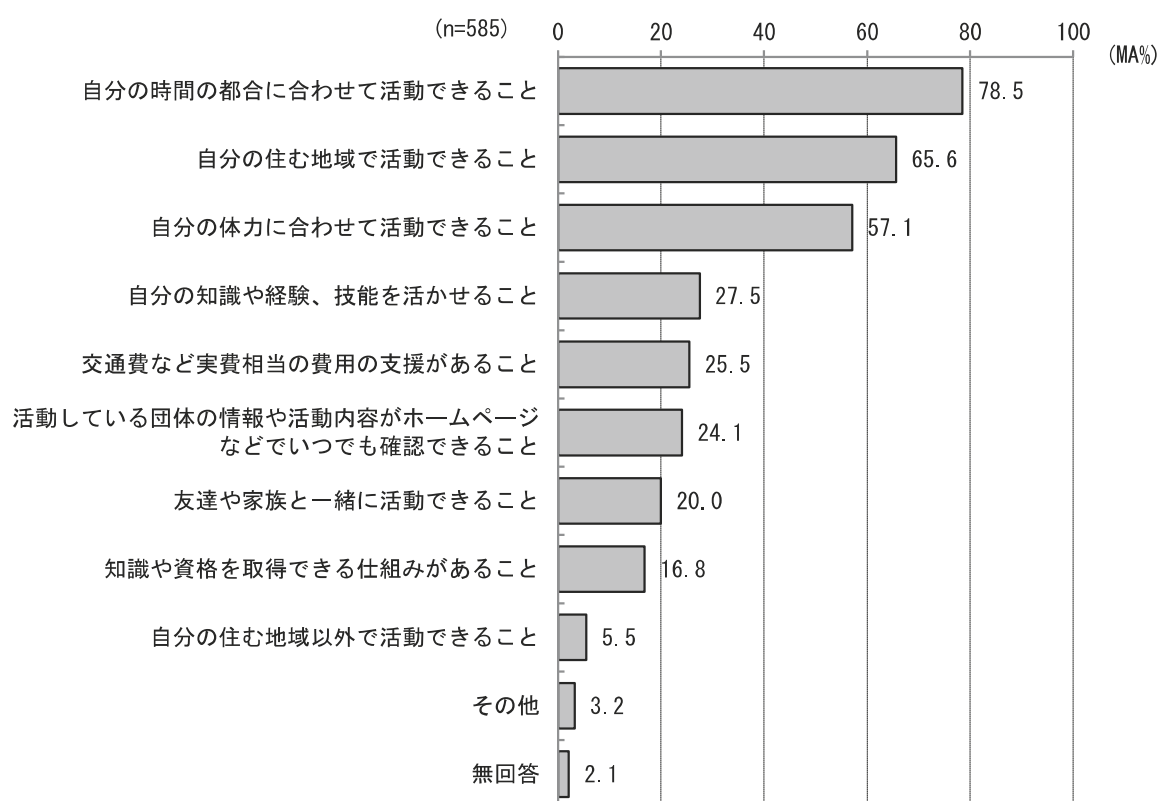
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

5. 地域のボランティア活動を充実させるための方法について

(1) ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に必要な条件や仕組み

(問14) さまざまな方が、ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に積極的に参加するためには、こういった条件や仕組みが必要だと思われますか。(○はいくつでも)

- ・ ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に必要な条件や仕組みについては、「自分の時間の都合に合わせて活動できること」が78.5%で最も多く、次いで「自分の住む地域で活動できること」が65.6%、「自分の体力に合わせて活動できること」が57.1%となっています。

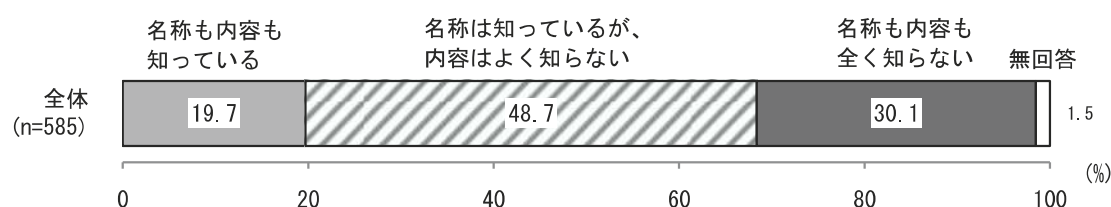


6. 権利擁護に関する制度について

(1) 日常生活自立支援事業の認知度

(問15) あなたは、日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）についてご存じですか。(○は1つ)

- ・日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）の認知度については、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が48.7%で最も多く、次いで「名称も内容も全く知らない」が30.1%、「名称も内容も知っている」が19.7%となっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、「名称も内容も知っている」の割合は12年以上15年未満が24.4%で最も高くなっています。
- ・活動頻度別でみると、「名称も内容も知っている」と「名称は知っているが、内容はよく知らない」の割合はいずれもほぼ毎日が最も高くなっています。



	回答者数(人)	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容はよく知らない	名称も内容も全く知らない	無回答
民生児童委員としての活動年数別					
3年未満	150	14.7	44.7	38.7	2.0
3年以上6年未満	130	23.1	43.8	32.3	0.8
6年以上9年未満	87	12.6	56.3	31.0	-
9年以上12年未満	80	23.8	53.8	22.5	-
12年以上15年未満	41	24.4	43.9	26.8	4.9
15年以上	91	23.1	51.6	22.0	3.3
活動頻度別					
ほぼ毎日	31	32.3	54.8	12.9	-
週2～3日	211	25.1	50.2	23.2	1.4
週1日程度	250	16.4	50.4	32.0	1.2

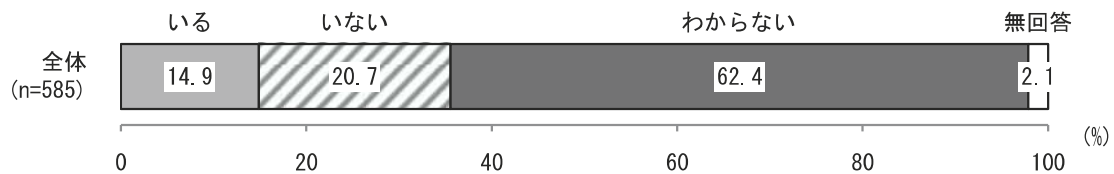
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 担当区域で日常生活自立支援事業の利用が必要と思われる人の有無

(問16) 担当区域に日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）の利用が必要と思われる方はいますか。(○は1つ)

- ・担当区域に日常生活自立支援事業の利用が必要と思われる人の有無については、「わからない」が62.4%で最も多く、次いで「いない」が20.7%、「いる」が14.9%となっています。
- ・地区別でみると、「いる」の割合は園田地区が20.4%で最も高くなっています。
- ・活動頻度別でみると、「いる」の割合はほぼ毎日が29.0%で最も高くなっています。



		(%)			
	回答者数(人)	いる	いない	わからない	無回答
地区別					
中央地区	88	18.2	21.6	58.0	2.3
小田地区	110	14.5	19.1	61.8	4.5
大庄地区	80	10.0	25.0	61.3	3.8
立花地区	132	12.1	17.4	70.5	-
武庫地区	75	12.0	17.3	70.7	-
園田地区	93	20.4	24.7	52.7	2.2
活動頻度別					
ほぼ毎日	31	29.0	35.5	35.5	-
週2～3日	211	18.5	24.2	54.5	2.8
週1日程度	250	11.6	20.0	67.2	1.2

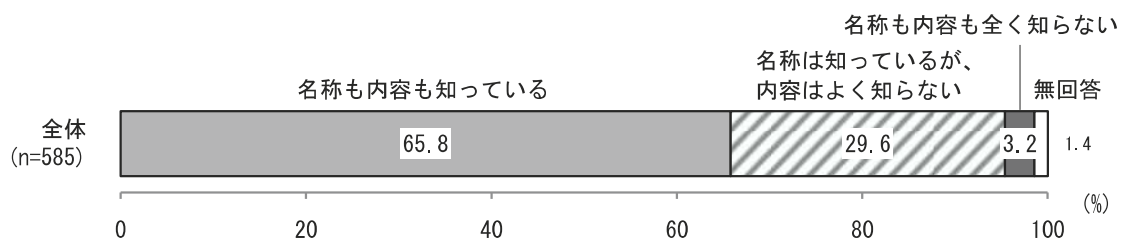
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 成年後見制度の認知度

(問17) あなたは、成年後見制度についてご存じですか。(○は1つ)

- ・成年後見制度の認知度については、「名称も内容も知っている」が65.8%で最も多く、次いで「名称は知っているが、内容はよく知らない」が29.6%、「名称も内容も全く知らない」が3.2%となっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、「名称も内容も知っている」の割合は15年以上が81.3%で最も高く、次いで9年以上12年未満が72.5%となっています。
- ・活動頻度別でみると、「名称も内容も知っている」の割合は週2～3日が72.5%で最も高くなっています。



	回答者数(人)	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容はよく知らない	名称も内容も全く知らない	無回答
民生児童委員としての活動年数別					
3年未満	150	52.0	39.3	6.0	2.7
3年以上6年未満	130	67.7	26.2	5.4	0.8
6年以上9年未満	87	66.7	31.0	2.3	-
9年以上12年未満	80	72.5	26.3	1.3	-
12年以上15年未満	41	61.0	36.6	-	2.4
15年以上	91	81.3	16.5	-	2.2
活動頻度別					
ほぼ毎日	31	71.0	29.0	-	-
週2～3日	211	72.5	24.6	1.4	1.4
週1日程度	250	64.8	29.2	4.4	1.6

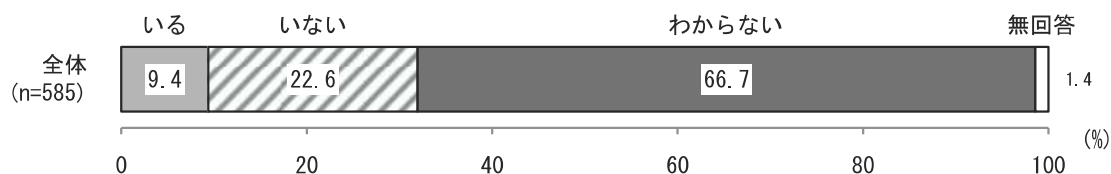
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 担当区域で成年後見制度の利用が必要と思われる人の有無

(問18) 担当区域に成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。(○は1つ)

- ・担当区域に成年後見制度の利用が必要と思われる人の有無については、「わからない」が66.7%で最も多く、次いで「いない」が22.6%、「いる」が9.4%となっています。
- ・地区別でみると、「いる」の割合は小田地区が14.5%で最も高く、次いで大庄地区が10.0%となっています。
- ・活動頻度別でみると、「いる」の割合はほぼ毎日が16.1%で最も高くなっています。



	回答者数(人)	いる	いない	わからない	無回答
地区別					
中央地区	88	4.5	30.7	64.8	-
小田地区	110	14.5	19.1	64.5	1.8
大庄地区	80	10.0	28.8	58.8	2.5
立花地区	132	9.8	20.5	68.9	0.8
武庫地区	75	8.0	10.7	80.0	1.3
園田地区	93	7.5	24.7	65.6	2.2
活動頻度別					
ほぼ毎日	31	16.1	35.5	48.4	-
週2～3日	211	12.3	26.1	60.2	1.4
週1日程度	250	8.8	22.4	67.2	1.6

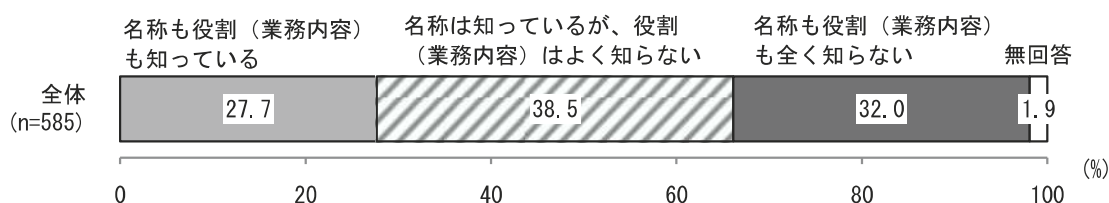
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 尼崎市成年後見等支援センターの認知度

(問19) あなたは、尼崎市成年後見等支援センターについてご存じですか。(○は1つ)

- ・尼崎市成年後見等支援センターの認知度については、「名称は知っているが、役割（業務内容）はよく知らない」が38.5%で最も多く、次いで「名称も役割（業務内容）も全く知らない」が32.0%、「名称も役割（業務内容）も知っている」が27.7%となっています。
- ・年代別でみると、30～50歳代、60歳代では「名称も役割（業務内容）も全く知らない」が最も多く、70歳以上では「名称は知っているが、役割（業務内容）はよく知らない」が最も多くなっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、3年以上15年未満は「名称は知っているが、役割（業務内容）はよく知らない」が最も多くなっていますが、15年以上では「名称も役割（業務内容）も知っている」が最も多くなっています。



	回答者数(人)	名称も役割（業務内容）も知っている	名称は知っているが、役割（業務内容）はよく知らない	名称も役割（業務内容）も全く知らない	無回答
年代別					
30～50歳代	89	23.6	34.8	39.3	2.2
60歳代	233	24.0	35.6	39.1	1.3
70歳以上	258	32.2	42.6	22.9	2.3
民生児童委員としての活動年数別					
3年未満	150	17.3	32.0	49.3	1.3
3年以上6年未満	130	22.3	45.4	30.0	2.3
6年以上9年未満	87	25.3	42.5	32.2	-
9年以上12年未満	80	35.0	46.3	18.8	-
12年以上15年未満	41	34.1	36.6	26.8	2.4
15年以上	91	41.8	31.9	20.9	5.5

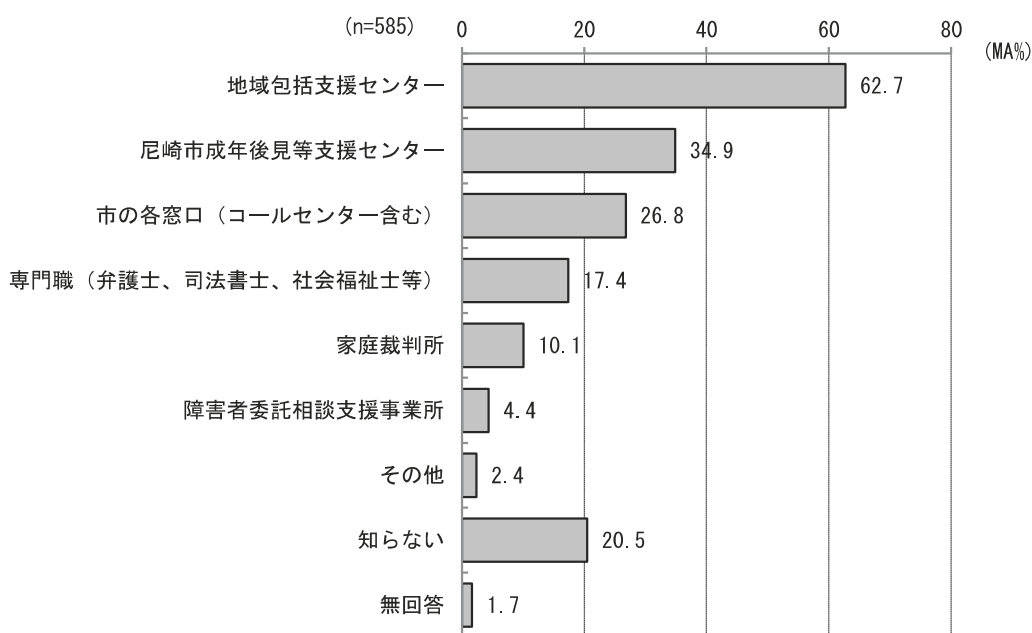
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) 日常生活自立支援事業や成年後見制度についての相談先で知っているところ

(問20) 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）や成年後見制度について、相談ができるところをご存じですか。（○はいくつでも）

- ・日常生活自立支援事業や成年後見制度に関する相談先で知っているところについては、「地域包括支援センター」が62.7%で最も多く、次いで「尼崎市成年後見等支援センター」が34.9%、「市の各窓口（コールセンター含む）」が26.8%となっています。
- ・年代別でみると、「障害者委託相談支援事業所」を除くすべての項目で70歳以上が最も高い割合となっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、「地域包括支援センター」の割合は9年以上活動している人で7割台と高くなっています。「尼崎市成年後見等支援センター」の割合は15年以上が50.5%で最も高くなっています。



	回答者数（人）	地域包括支援センター	尼崎市成年後見等支援センター	市の各窓口（コールセンター含む）	専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）	家庭裁判所	障害者委託相談支援事業所	その他	知らない	無回答
年代別										
30～50歳代	89	42.7	27.0	19.1	13.5	7.9	3.4	5.6	36.0	1.1
60歳代	233	57.1	34.8	25.3	15.5	6.9	4.7	1.7	26.2	1.3
70歳以上	258	74.0	37.2	31.0	20.2	13.2	4.3	1.9	10.5	2.3
民生児童委員としての活動年数別										
3年未満	150	44.7	26.0	27.3	12.7	8.0	4.0	1.3	37.3	2.0
3年以上6年未満	130	59.2	31.5	23.8	19.2	9.2	2.3	4.6	16.9	0.8
6年以上9年未満	87	63.2	31.0	27.6	13.8	8.0	3.4	2.3	25.3	-
9年以上12年未満	80	75.0	38.8	30.0	21.3	15.0	7.5	2.5	7.5	-
12年以上15年未満	41	78.0	39.0	39.0	19.5	7.3	4.9	-	17.1	2.4
15年以上	91	76.9	50.5	20.9	18.7	12.1	5.5	2.2	7.7	5.5

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

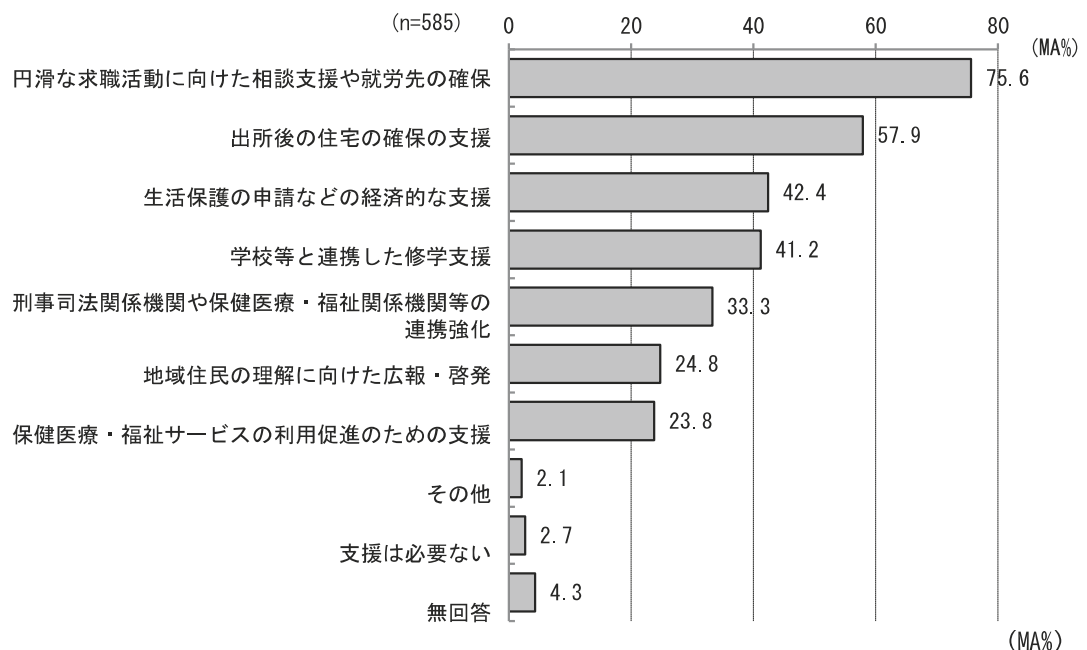
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

7. 非行や犯罪をした人の立ち直りについて

(1) 非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うこと

(問21) 非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うことはありますか。
(○はいくつでも)

- ・非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うことについては、「円滑な求職活動に向けた相談支援や就労先の確保」が75.6%で最も多く、次いで「出所後の住宅の確保の支援」が57.9%、「生活保護の申請などの経済的な支援」が42.4%となっています。
- ・地区別でみると、「円滑な求職活動に向けた相談支援や就労先の確保」の割合は小田地区が86.4%で最も高くなっています。
- ・活動頻度別でみると、「円滑な求職活動に向けた相談支援や就労先の確保」の割合は週2～3日が79.1%で最も高くなっています。



	回答者数 (人)	円滑な求職活動に向けた相談支援や就労先の確保	出所後の住宅の確保の支援	生活保護の申請などの経済的な支援	学校等と連携した修学支援	保健医療・福祉関係機関等の連携強化	刑事司法関係機関や保健医療・福祉関係機関等の連携強化	地域住民の理解に向けた広報・啓発	保健医療・福祉サービスの利用促進のための支援	その他	支援は必要ない	無回答
地区別												
中央地区	88	75.0	60.2	50.0	50.0	30.7	26.1	29.5	1.1	3.4	1.1	
小田地区	110	86.4	62.7	43.6	42.7	42.7	23.6	23.6	-	0.9	1.8	
大庄地区	80	67.5	56.3	37.5	37.5	25.0	23.8	16.3	2.5	3.8	7.5	
立花地区	132	73.5	64.4	47.0	39.4	32.6	25.8	25.0	2.3	4.5	1.5	
武庫地区	75	78.7	48.0	36.0	44.0	32.0	22.7	22.7	1.3	2.7	9.3	
園田地区	93	71.0	49.5	36.6	35.5	35.5	25.8	25.8	4.3	1.1	7.5	
活動頻度別												
ほぼ毎日	31	71.0	67.7	58.1	45.2	29.0	25.8	29.0	6.5	3.2	3.2	
週2～3日	211	79.1	64.5	46.0	44.1	33.2	28.0	23.7	1.9	1.4	3.8	
週1日程度	250	72.8	54.8	41.2	39.2	34.4	22.4	24.0	1.6	3.2	4.4	

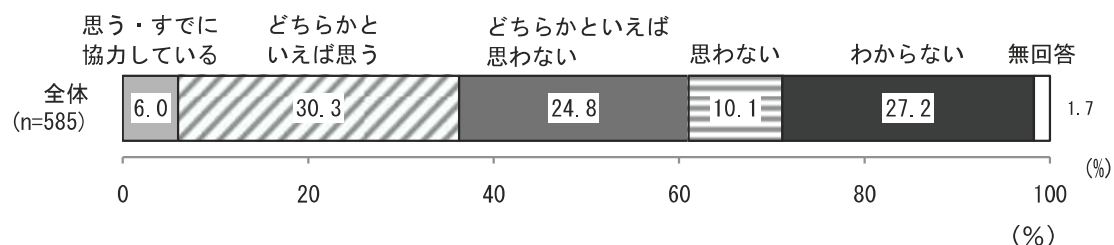
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 非行や犯罪をした人の立ち直りへの協力の意向

(問22) あなたは、民生児童委員として、非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(〇は1つ)

- ・ 民生児童委員として、非行や犯罪をした人の立ち直りへの協力の意向については、「どちらかといえば思う」が30.3%で最も多く、次いで「どちらかといえば思わない」が24.8%、「思わない」が10.1%となっています。
- ・ 年代別でみると、「思う・すでに協力している」の割合は30～50歳代が10.1%で最も高くなっています。
- ・ 民生児童委員としての活動年数別でみると、9年以上12年未満では「どちらかといえば思わない」が最も多くなっていますが、それ以外はいずれも「どちらかといえば思う」が最も多くなっています。
- ・ 活動頻度別でみると、「思う・すでに協力している」の割合はほぼ毎日が16.1%で最も高くなっています。



	回答者数(人)	思う・すでに協力している	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	わからない	無回答
年代別							
30～50歳代	89	10.1	29.2	15.7	6.7	36.0	2.2
60歳代	233	4.7	29.2	24.9	12.4	27.9	0.9
70歳以上	258	5.4	31.8	27.9	8.5	24.0	2.3
民生児童委員としての活動年数別							
3年未満	150	6.0	31.3	23.3	8.7	29.3	1.3
3年以上6年未満	130	3.8	26.9	23.8	13.1	31.5	0.8
6年以上9年未満	87	5.7	27.6	19.5	12.6	33.3	1.1
9年以上12年未満	80	7.5	28.8	32.5	10.0	21.3	-
12年以上15年未満	41	4.9	36.6	24.4	9.8	22.0	2.4
15年以上	91	6.6	34.1	27.5	5.5	20.9	5.5
活動頻度別							
ほぼ毎日	31	16.1	29.0	22.6	9.7	22.6	-
週2～3日	211	7.6	34.6	27.0	8.1	21.8	0.9
週1日程度	250	4.0	28.0	24.8	12.0	29.6	1.6

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

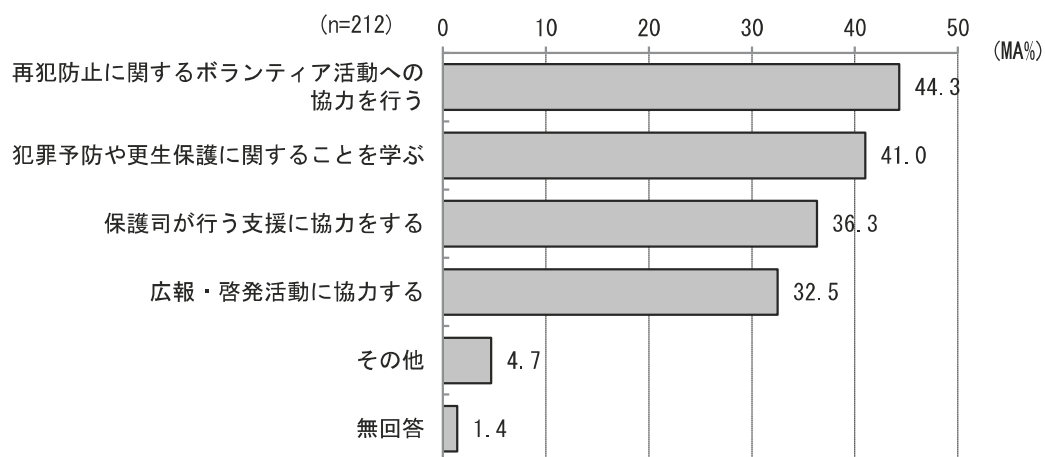
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思う内容

問22で「1」または「2」と回答した方に

(問22-1) どのような協力をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと回答した人に、どのような協力をしたいかをたずねると、「再犯防止に関するボランティア活動への協力を行う」が44.3%で最も多く、次いで「犯罪予防や更生保護に関することを学ぶ」が41.0%、「保護司が行う支援に協力をする」が36.3%となっています。
- ・活動頻度別でみると、ほぼ毎日では「犯罪予防や更生保護に関することを学ぶ」が57.1%で最も多くなっています。



		(MA%)					
	回答者数(人)	再犯防止に関するボランティア活動への協力を行う	犯罪予防や更生保護に関することを学ぶ	保護司が行う支援に協力をする	広報・啓発活動に協力する	その他	無回答
活動頻度別							
ほぼ毎日	14	35.7	57.1	42.9	28.6	21.4	-
週2～3日	89	48.3	32.6	42.7	37.1	1.1	2.2
週1日程度	80	46.3	40.0	33.8	30.0	3.8	1.3

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

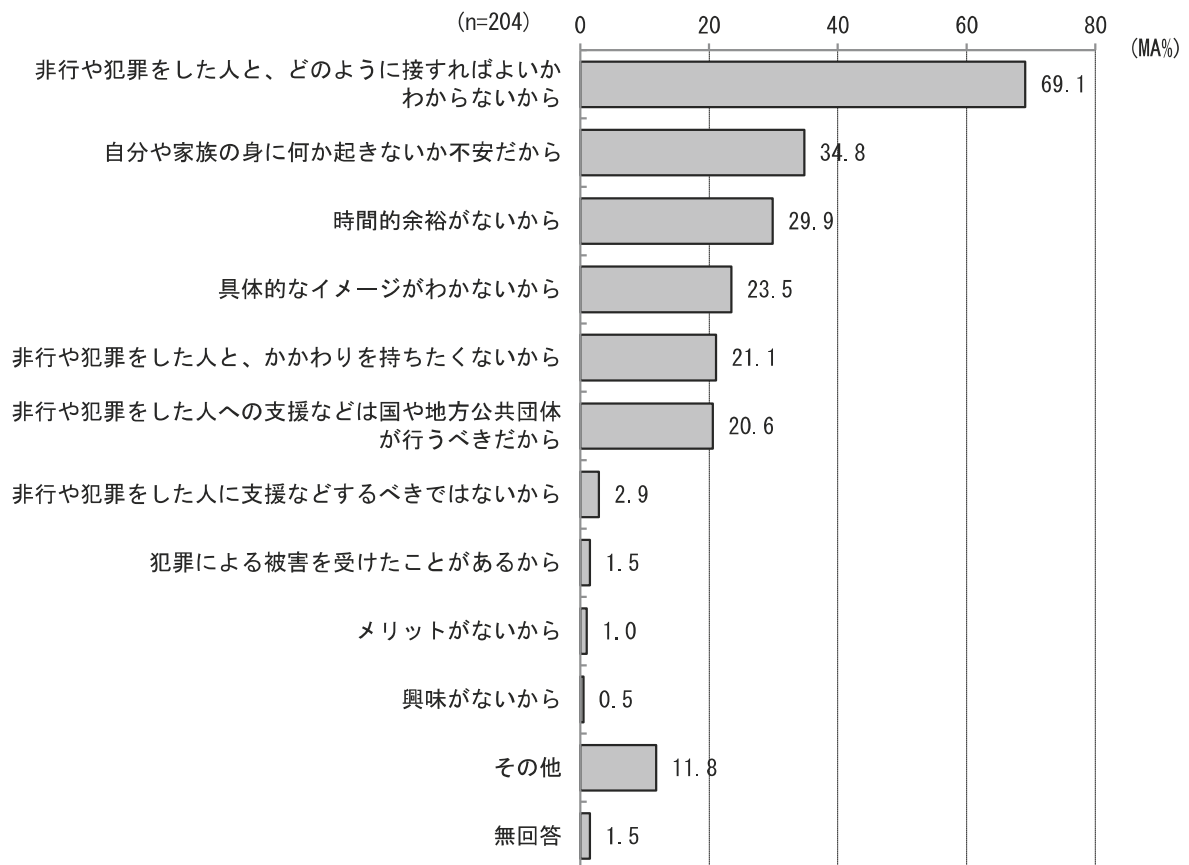
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思わない理由

問22で「3」または「4」と回答した方に

(問22-2) 協力したいと思わない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ・ 非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が69.1%で最も多く、次いで「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が34.8%、「時間的余裕がないから」が29.9%となっています。



- ・地区別でみると、母数が少ないため一概にはいえませんが、「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」の割合は武庫地区が80.8%で最も高くなっています。

(MA%)													
	回答者数(人)	非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから	自分や家族の身に何か起きないかなだから	時間的余裕がないから	具体的なイメージがわからないから	非行や犯罪をした人と、かわりをもちたくないから	国や地方公共団体が行うべきだから	非行や犯罪をした人への支援などすべきではないから	非行や犯罪をした人によって被害を受けたことがあるから	メリットがないから	興味がないから	その他	無回答
地区別													
中央地区	32	68.8	37.5	25.0	15.6	18.8	21.9	9.4	3.1	-	-	3.1	6.3
小田地区	35	71.4	31.4	28.6	25.7	22.9	17.1	-	-	-	-	14.3	-
大庄地区	18	72.2	22.2	38.9	27.8	11.1	27.8	-	-	-	-	16.7	-
立花地区	51	66.7	37.3	31.4	19.6	17.6	21.6	3.9	3.9	2.0	2.0	11.8	-
武庫地区	26	80.8	23.1	34.6	23.1	23.1	23.1	-	-	3.8	-	15.4	-
園田地区	39	61.5	48.7	25.6	30.8	30.8	17.9	2.6	-	-	-	10.3	2.6

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

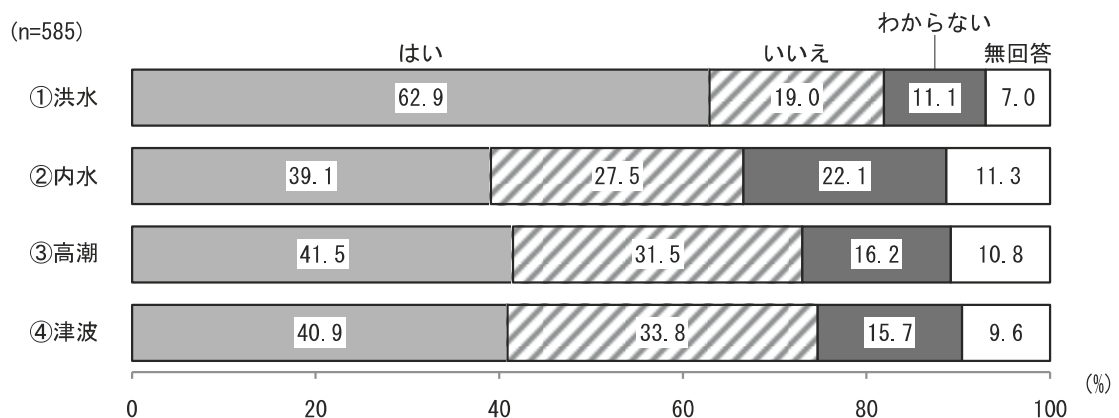
※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

8. 災害時の支援について

(1) 南海トラフ巨大地震の想定浸水域内の居住

(問23) 令和7年9月に、市より新しいハザードマップを配布していますが、南海トラフ巨大地震や台風等によって、以下の水害等が発生した際に、あなたのお住まいは「浸水想定区域」に含まれていますか。(①～④について、1～3のいずれかに○を1つずつ)

- ・自宅が浸水想定区域に含まれているかについては、「はい」(含まれている)は①洪水が62.9%で最も高く、次いで③高潮が41.5%、④津波が40.9%、②内水が39.1%となっています。「わからない」は②内水が22.1%で最も高くなっています。



① 洪水

- ・地区別でみると、「はい」(含まれている)の割合は中央地区が79.5%で最も高く、次いで小田地区が76.4%となっています。

		(%)			
	回答者数(人)	はい	いいえ	わからない	無回答
地区別					
中央地区	88	79.5	6.8	4.5	9.1
小田地区	110	76.4	13.6	6.4	3.6
大庄地区	80	71.3	8.8	6.3	13.8
立花地区	132	52.3	27.3	17.4	3.0
武庫地区	75	33.3	42.7	18.7	5.3
園田地区	93	62.4	16.1	11.8	9.7

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 内水

- ・地区別でみると、「はい」（含まれている）の割合は大庄地区が50.0%で最も高く、次いで小田地区が49.1%となっています。

(%)

	回答者数 (人)	はい	いいえ	わからない	無回答
地区別					
中央地区	88	46.6	14.8	23.9	14.8
小田地区	110	49.1	22.7	19.1	9.1
大庄地区	80	50.0	21.3	11.3	17.5
立花地区	132	27.3	42.4	25.0	5.3
武庫地区	75	16.0	41.3	34.7	8.0
園田地区	93	47.3	18.3	19.4	15.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

③ 高潮

- ・地区別でみると、「はい」（含まれている）の割合は中央地区が67.0%で最も高く、次いで大庄地区が61.3%となっています。

(%)

	回答者数 (人)	はい	いいえ	わからない	無回答
地区別					
中央地区	88	67.0	8.0	10.2	14.8
小田地区	110	60.9	17.3	12.7	9.1
大庄地区	80	61.3	12.5	10.0	16.3
立花地区	132	31.1	38.6	23.5	6.8
武庫地区	75	8.0	68.0	18.7	5.3
園田地区	93	21.5	46.2	19.4	12.9

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

④ 津波

- ・地区別でみると、「はい」（含まれている）の割合は中央地区が72.7%で最も高く、次いで小田地区が60.9%となっています。

(%)

	回答者数 (人)	はい	いいえ	わからない	無回答
地区別					
中央地区	88	72.7	9.1	6.8	11.4
小田地区	110	60.9	26.4	7.3	5.5
大庄地区	80	55.0	21.3	11.3	12.5
立花地区	132	26.5	42.4	24.2	6.8
武庫地区	75	12.0	61.3	20.0	6.7
園田地区	93	21.5	41.9	21.5	15.1

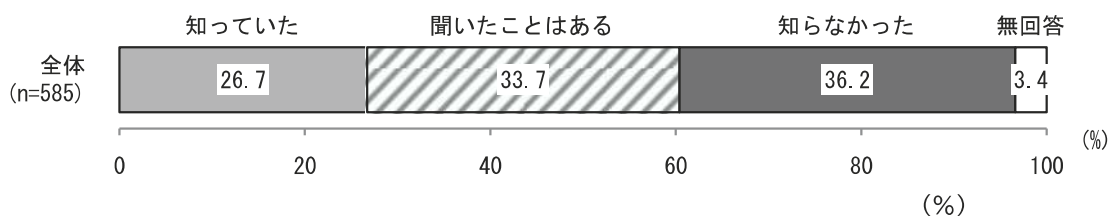
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 福祉避難所の認知度

(問24) あなたは、福祉避難所とはどのような場所のことを指すかご存じですか。(○は1つ)

- ・福祉避難所の認知度については、「知らなかった」が36.2%で最も多く、次いで「聞いたことはある」が33.7%、「知っていた」が26.7%となっています。
- ・年代別でみると、30～50歳代、60歳代では「知らなかった」が最も多いですが、70歳以上では「聞いたことはある」が最も多くなっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、「知らなかった」の割合は3年未満が52.0%で最も高く、「知っていた」の割合は15年以上が37.4%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「知っていた」の割合は園田地区が29.0%で最も高くなっています。
- ・活動頻度別でみると、「知っていた」の割合は活動頻度が多いほど割合が高く、ほぼ毎日が54.8%で最も高くなっています。



	回答者数 (人)	知 つ て い た	あ る 聞 い た こ と は	知 ら な か っ た	無 回 答
年代別					
30～50歳代	89	24.7	34.8	37.1	3.4
60歳代	233	21.0	33.9	42.1	3.0
70歳以上	258	32.2	32.9	31.0	3.9
民生児童委員としての活動年数別					
3年未満	150	20.0	25.3	52.0	2.7
3年以上6年未満	130	22.3	34.6	40.0	3.1
6年以上9年未満	87	28.7	40.2	28.7	2.3
9年以上12年未満	80	36.3	30.0	28.8	5.0
12年以上15年未満	41	14.6	46.3	31.7	7.3
15年以上	91	37.4	36.3	23.1	3.3
地区別					
中央地区	88	27.3	34.1	36.4	2.3
小田地区	110	27.3	35.5	35.5	1.8
大庄地区	80	28.8	31.3	30.0	10.0
立花地区	132	28.8	30.3	40.2	0.8
武庫地区	75	16.0	50.7	30.7	2.7
園田地区	93	29.0	21.5	44.1	5.4
活動頻度別					
ほぼ毎日	31	54.8	29.0	6.5	9.7
週2～3日	211	33.6	31.8	32.2	2.4
週1日程度	250	21.2	36.4	38.8	3.6

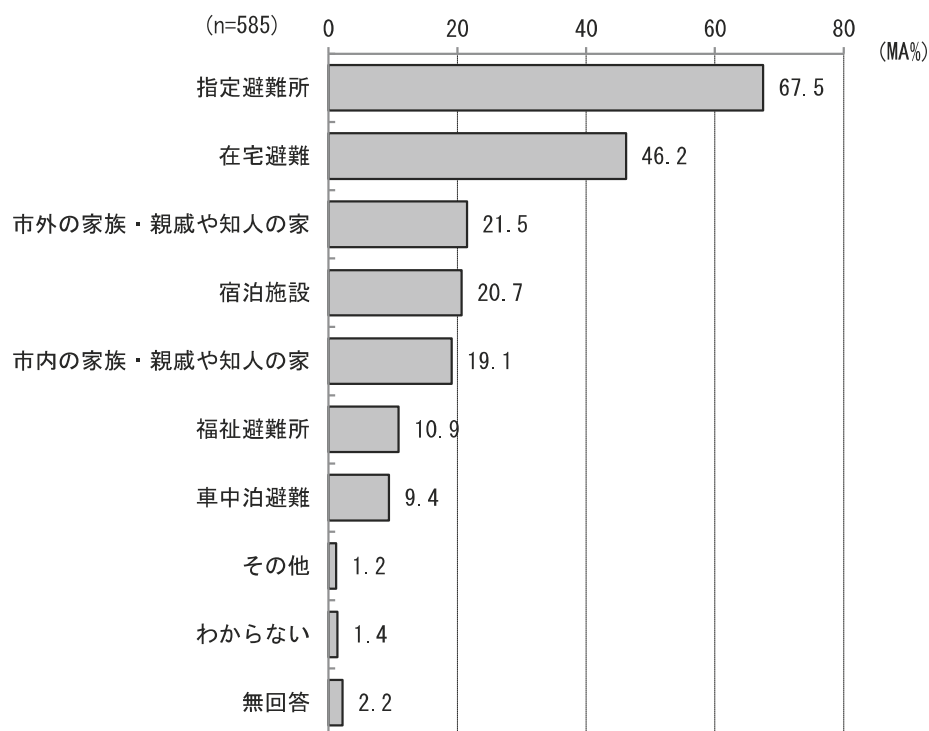
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 災害時の避難先候補として考えているところ

(問25) 風水害や地震などの災害が起こったとき、あなたはどこに避難したいですか。(〇はいくつでも)

- ・災害時の避難先候補として考えているところについては、「指定避難所」が67.5%で最も多く、次いで「在宅避難」が46.2%、「市外の家族・親戚や知人の家」が21.5%となっています。
- ・地区別でみると、「在宅避難」の割合は立花地区が53.8%で最も高く、次いで園田地区が51.6%となっています。



	回答者数 (人)	指定避難所	在宅避難	市外の家族・親戚や知人の家	宿泊施設	市内の家族・親戚や知人の家	福祉避難所	車中泊避難	その他	わからない	無回答
地区別											
中央地区	88	68.2	46.6	18.2	26.1	21.6	12.5	8.0	-	1.1	1.1
小田地区	110	70.9	49.1	20.9	19.1	18.2	12.7	9.1	-	-	0.9
大庄地区	80	71.3	32.5	25.0	12.5	25.0	15.0	12.5	1.3	1.3	7.5
立花地区	132	64.4	53.8	20.5	25.0	18.2	7.6	12.9	3.0	2.3	0.8
武庫地区	75	69.3	37.3	22.7	16.0	20.0	8.0	5.3	-	1.3	2.7
園田地区	93	62.4	51.6	20.4	22.6	15.1	9.7	7.5	2.2	2.2	2.2

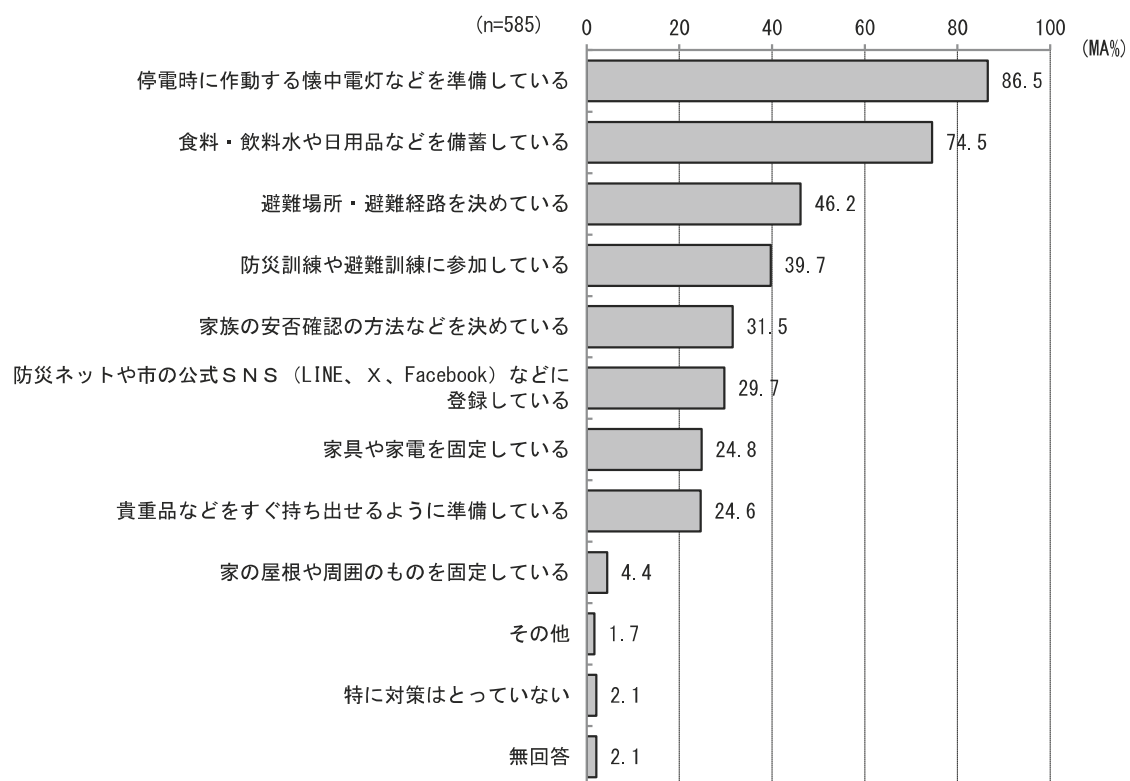
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 大地震や風水害に備えた対策

(問26) あなたは、大地震や風水害に備えて、どのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

- ・大地震や風水害に備えた対策については、「停電時に作動する懐中電灯などを準備している」が86.5%で最も多く、次いで「食料・飲料水や日用品などを備蓄している」が74.5%、「避難場所・避難経路を決めている」が46.2%となっています。
- ・地区別でみると、「停電時に作動する懐中電灯などを準備している」、「食料・飲料水や日用品などを備蓄している」の割合は立花地区が最も高く、「避難場所・避難経路を決めている」の割合は中央地区が最も高くなっています。



(MA%)														
		回答者数（人）	停電時に作動する懐中電灯などを準備している	食料・飲料水や日用品などを備蓄している	避難場所・避難経路を決めている	防災訓練や避難訓練に参加している	家族の安否確認の方法などを決めている	防災ネットや市の公式SNS（LINE、X、Facebook）などに登録している	家具や家電を固定している	貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	家の屋根や周囲のものを固定している	その他	特に対策はとっていない	無回答
地区別														
中央地区	88	83.0	73.9	59.1	43.2	40.9	29.5	20.5	23.9	6.8	-	2.3	1.1	
小田地区	110	89.1	72.7	42.7	42.7	36.4	23.6	22.7	25.5	5.5	0.9	2.7	0.9	
大庄地区	80	83.8	73.8	38.8	51.3	31.3	23.8	22.5	27.5	1.3	-	1.3	7.5	
立花地区	132	91.7	78.8	53.8	32.6	31.1	34.8	26.5	25.0	5.3	0.8	1.5	-	
武庫地区	75	88.0	68.0	37.3	32.0	22.7	32.0	29.3	21.3	1.3	4.0	2.7	2.7	
園田地区	93	81.7	77.4	41.9	38.7	26.9	33.3	26.9	24.7	5.4	5.4	2.2	2.2	

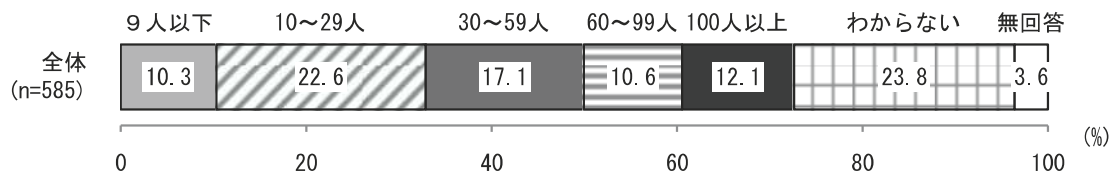
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 担当区域で災害時の要配慮者に該当する人の数

(問27) あなたの担当区域には、災害時の要配慮者に該当するかたは何人くらいいますか。
(○は1つ)

- ・担当区域で災害時の要配慮者に該当する人の数については、「10～29人」が22.6%で最も多く、次いで「30～59人」が17.1%、「100人以上」が12.1%となっています。
- ・地区別でみると、「60～99人」、「100人以上」の割合はいずれも立花地区が最も高くなっています。



	回答者数(人)	9人以下	10～29人	30～59人	60～99人	100人以上	わからない	無回答
地区別								
中央地区	88	12.5	25.0	21.6	8.0	12.5	19.3	1.1
小田地区	110	14.5	23.6	16.4	10.9	13.6	17.3	3.6
大庄地区	80	3.8	26.3	18.8	11.3	11.3	17.5	11.3
立花地区	132	5.3	16.7	16.7	12.1	15.9	33.3	-
武庫地区	75	17.3	18.7	12.0	10.7	8.0	29.3	4.0
園田地区	93	9.7	24.7	18.3	10.8	8.6	24.7	3.2

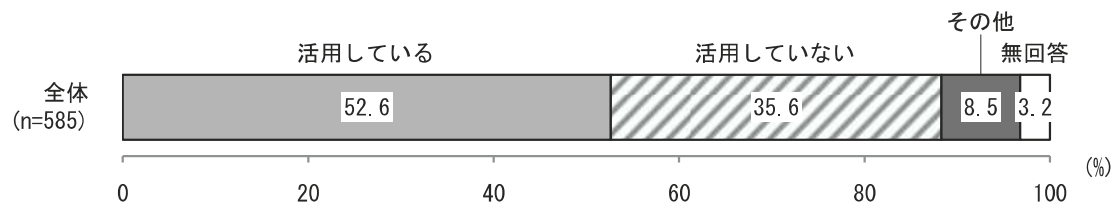
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) 高齢者名簿兼避難行動要支援者名簿の活用状況

(問28) あなたは、高齢者名簿兼避難行動要支援者名簿を日頃活用していますか。(○は1つ)

- ・高齢者名簿兼避難行動要支援者名簿の活用状況については、「活用している」が52.6%、「活用していない」が35.6%となっています。
- ・地区別でみると、「活用している」の割合は小田地区が60.0%で最も高く、次いで大庄地区が55.0%となっています。



(%)					
	回答者数 (人)	活用 している	活用 していない	その他	無 回答
地区別					
中央地区	88	48.9	42.0	8.0	1.1
小田地区	110	60.0	29.1	9.1	1.8
大庄地区	80	55.0	30.0	6.3	8.8
立花地区	132	50.8	42.4	6.8	-
武庫地区	75	45.3	38.7	8.0	8.0
園田地区	93	53.8	30.1	12.9	3.2

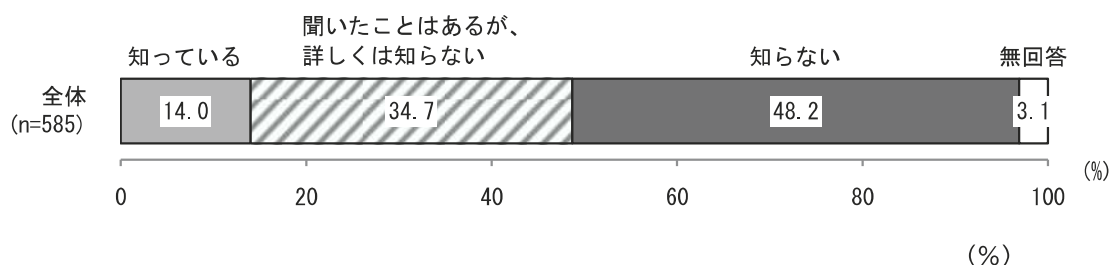
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(7) 要配慮者の個別支援計画の作成支援の認知度

(問29) 地域にお住まいの要配慮者の避難支援のため、国や県、市は要配慮者一人ひとりの身体や生活の状況に合わせて、避難方法を事前に決めておく個別避難計画の作成支援を進めていることをご存じですか。(〇は1つ)

- ・要配慮者の個別支援計画の作成支援の認知度については、「知らない」が48.2%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が34.7%、「知っている」が14.0%となっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、12年未満では「知らない」が最も多くなっていますが、12年以上活動している人では「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が最も多くなっています。
- ・地区別でみると、「知らない」の割合は立花地区が59.8%で最も高く、次いで中央地区が50.0%となっています。



	回答者数 (人)	知っている	聞いたことはあるが、 しくは知らない	知らない	無回答
民生児童委員としての活動年数別					
3年未満	150	11.3	26.7	59.3	2.7
3年以上6年未満	130	13.8	30.8	50.0	5.4
6年以上9年未満	87	11.5	35.6	52.9	-
9年以上12年未満	80	22.5	35.0	41.3	1.3
12年以上15年未満	41	12.2	53.7	29.3	4.9
15年以上	91	14.3	44.0	37.4	4.4
地区別					
中央地区	88	13.6	35.2	50.0	1.1
小田地区	110	12.7	37.3	46.4	3.6
大庄地区	80	17.5	36.3	36.3	10.0
立花地区	132	12.1	27.3	59.8	0.8
武庫地区	75	10.7	46.7	40.0	2.7
園田地区	93	17.2	31.2	49.5	2.2

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

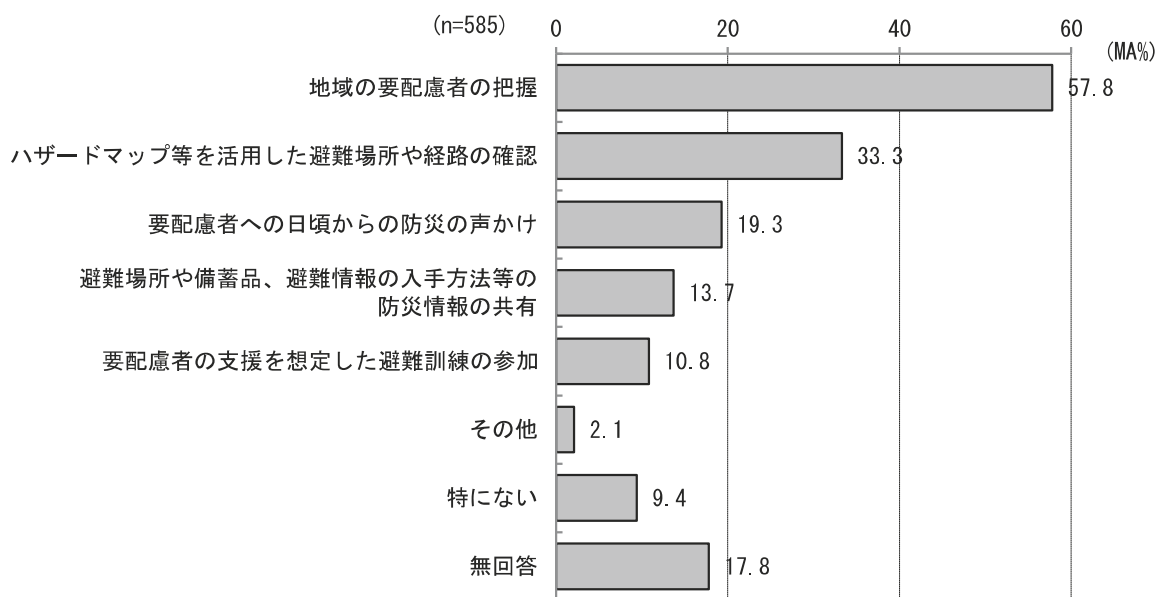
(8) 地域の高齢者等の要配慮者への避難支援

(問30) 地域にお住まいの高齢者等の要配慮者の避難支援に関して、

- ① あなたが日頃から取り組んでいること
- ② 地域で日頃から取り組んでいること
- ③ 地域で今後必要だと思う取組 として、
1～7の選択肢の中からあてはまるものについて、太枠内に○をつけてください。
(○はいくつでも)

① あなたの日頃取組

- ・要配慮者の避難支援として、自身が日頃から取り組んでいることについては、「地域の要配慮者の把握」が57.8%で最も多く、次いで「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」が33.3%、「要配慮者への日頃からの防災の声かけ」が19.3%となっています。
- ・年代別でみると、「避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有」を除くいずれの項目も70歳以上が最も高い割合となっています。
- ・民生児童委員としての活動年数別でみると、「地域の要配慮者の把握」の割合は6年以上活動している人で6割台となっています。
- ・地区別でみると、「地域の要配慮者の把握」の割合は中央地区と小田地区で6割台となっています。
- ・活動頻度別でみると、いずれの項目もほぼ毎日が最も高い割合となっています。



(MA%)

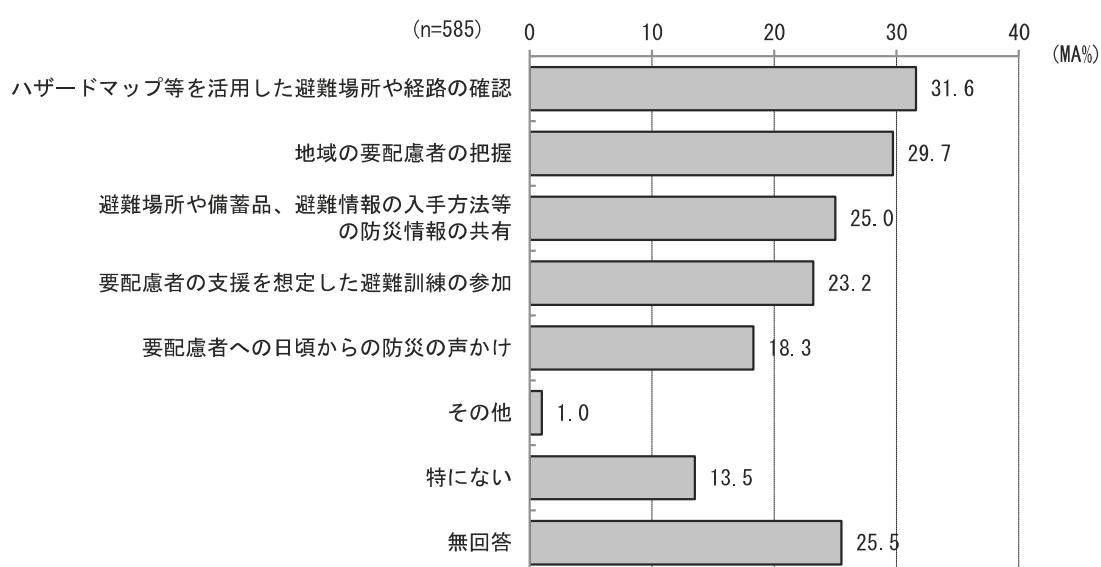
	回答者数(人)	地域の要配慮者の把握	ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認	要配慮者への日頃からの防災の声かけ	避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有	要配慮者の支援を想定した避難訓練の参加	その他	特になし	無回答
年代別									
30～50歳代	89	52.8	32.6	9.0	10.1	10.1	2.2	16.9	15.7
60歳代	233	54.1	29.2	16.3	15.0	8.2	2.1	12.9	16.3
70歳以上	258	63.6	37.6	25.6	14.0	12.8	1.6	3.9	19.0
民生児童委員としての活動年数別									
3年未満	150	46.7	28.0	12.0	12.7	8.7	3.3	16.7	20.0
3年以上6年未満	130	54.6	32.3	16.9	10.8	11.5	0.8	10.0	18.5
6年以上9年未満	87	65.5	23.0	19.5	8.0	3.4	2.3	9.2	19.5
9年以上12年未満	80	68.8	40.0	27.5	21.3	13.8	1.3	1.3	15.0
12年以上15年未満	41	63.4	39.0	19.5	12.2	9.8	-	4.9	14.6
15年以上	91	63.7	46.2	26.4	19.8	17.6	1.1	6.6	13.2
地区別									
中央地区	88	65.9	35.2	20.5	13.6	6.8	1.1	5.7	12.5
小田地区	110	63.6	31.8	23.6	12.7	10.0	1.8	8.2	15.5
大庄地区	80	56.3	41.3	21.3	16.3	12.5	1.3	7.5	20.0
立花地区	132	56.1	31.8	15.9	12.9	10.6	3.0	12.9	15.9
武庫地区	75	52.0	34.7	16.0	16.0	10.7	1.3	12.0	20.0
園田地区	93	52.7	28.0	18.3	11.8	14.0	1.1	9.7	23.7
活動頻度別									
ほぼ毎日	31	67.7	45.2	35.5	22.6	22.6	3.2	6.5	16.1
週2～3日	211	66.4	36.5	27.0	15.6	13.7	2.4	4.7	15.6
週1日程度	250	58.0	32.4	14.0	12.8	9.2	0.4	8.4	18.0

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 地域での日頃の取組

- ・要配慮者の避難支援として、地域で日頃から取り組んでいることについては、「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」が31.6%で最も多く、次いで「地域の要配慮者の把握」が29.7%、「避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有」が25.0%となっています。
- ・年代別でみると、60歳代では「地域の要配慮者の把握」が31.3%で最も多くなっていますが、30～50歳代と70歳以上では「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」が最も多くなっています。
- ・地区別でみると、「避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有」の割合は中央地区が29.5%で最も高く、「要配慮者の支援を想定した避難訓練の参加」の割合は小田地区が28.2%で最も高くなっています。



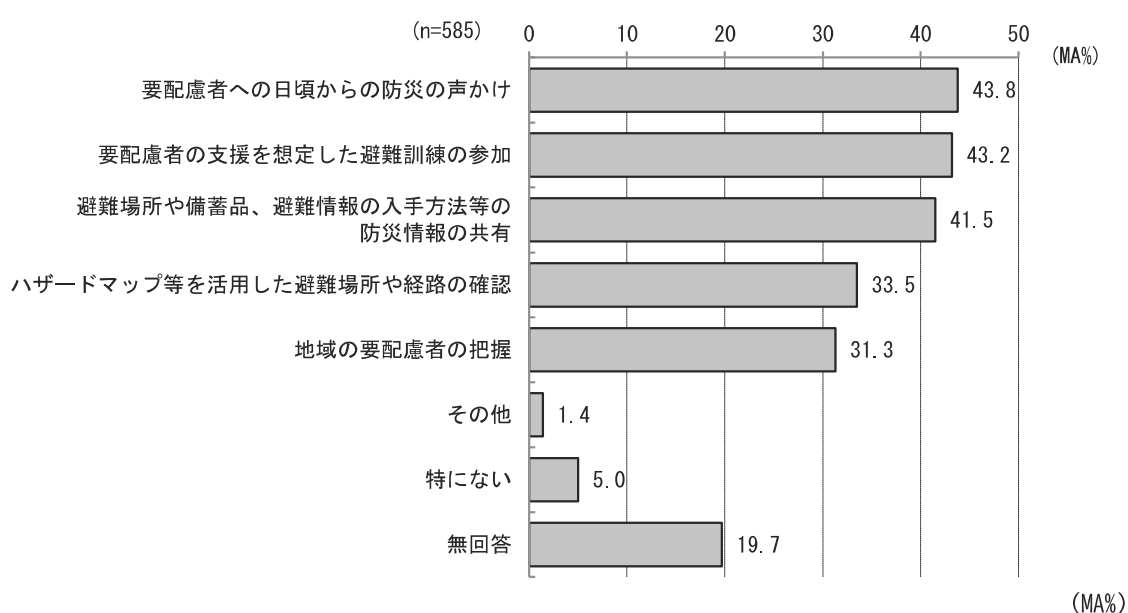
	回答者数 (人)	ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認	地域の要配慮者の把握	避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有	避難訓練の参加	要配慮者の支援を想定した避難訓練の参加	要配慮者への日頃からの防災の声かけ	その他	特にない	無回答
年代別										
30～50歳代	89	24.7	22.5	18.0	23.6	10.1	2.2	23.6	21.3	
60歳代	233	30.0	31.3	24.5	20.2	15.9	0.9	18.0	25.8	
70歳以上	258	35.3	30.6	27.5	25.6	23.3	0.8	6.2	26.7	
地区別										
中央地区	88	36.4	31.8	29.5	22.7	23.9	-	12.5	20.5	
小田地区	110	32.7	36.4	26.4	28.2	19.1	0.9	11.8	22.7	
大庄地区	80	31.3	23.8	25.0	27.5	16.3	1.3	12.5	27.5	
立花地区	132	27.3	28.0	25.8	18.2	13.6	1.5	18.2	19.7	
武庫地区	75	32.0	29.3	14.7	17.3	17.3	-	12.0	36.0	
園田地区	93	31.2	26.9	26.9	26.9	20.4	2.2	12.9	30.1	

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

③ 今後、必要な取組

- ・要配慮者の避難支援として、今後必要だと思う取組については、「要配慮者への日頃からの防災の声かけ」が43.8%で最も多く、次いで「要配慮者の支援を想定した避難訓練の参加」が43.2%、「避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有」が41.5%となっています。
- ・年代別でみると、30～50歳代と60歳代では「要配慮者への日頃からの防災の声かけ」が最も多くなっていますが、70歳以上では「要配慮者の支援を想定した避難訓練の参加」が最も多くなっています。
- ・地区別でみると、「要配慮者への日頃からの防災の声かけ」の割合は中央地区が46.6%で最も高く、「要配慮者の支援を想定した避難訓練の参加」の割合は園田地区が46.2%で最も高くなっています。



	回答者数 (人)	要配慮者への日頃からの防災の声かけ	要配慮者の支援を想定した避難訓練の参加	避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有	ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認	地域の要配慮者の把握	その他	特にない	無回答
年代別									
30～50歳代	89	48.3	38.2	44.9	37.1	36.0	3.4	9.0	14.6
60歳代	233	43.3	39.1	39.1	37.3	31.3	1.3	6.4	18.5
70歳以上	258	42.2	48.4	42.2	29.1	29.1	0.8	2.3	22.5
地区別									
中央地区	88	46.6	43.2	46.6	34.1	34.1	1.1	1.1	19.3
小田地区	110	45.5	43.6	42.7	40.9	26.4	-	7.3	18.2
大庄地区	80	40.0	40.0	33.8	25.0	23.8	-	5.0	22.5
立花地区	132	44.7	43.2	41.7	32.6	36.4	3.0	7.6	13.6
武庫地区	75	41.3	42.7	45.3	25.3	32.0	1.3	4.0	24.0
園田地区	93	41.9	46.2	37.6	40.9	33.3	2.2	3.2	22.6

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

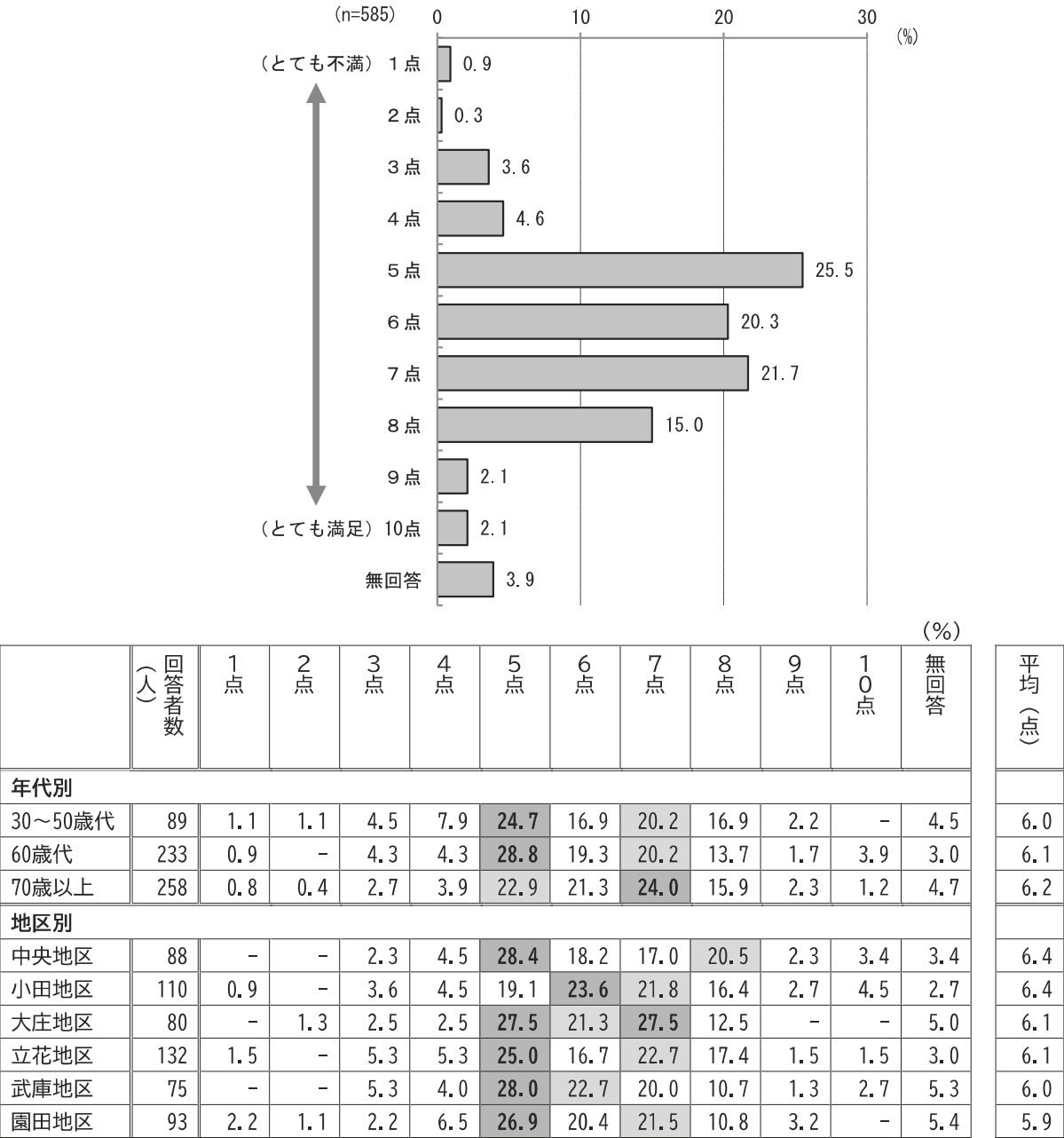
※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

9. その他について

(1) 尼崎市の福祉施策に対する評価

(問31) あなたが、尼崎市の福祉施策に関する取組に10段階で得点をつけるとすれば、何点ですか。(1～10のうち、いずれかに○を1つ)

- ・ 尼崎市の福祉施策に対する評価については、「5点」が25.5%で最も多く、次いで「7点」が21.7%、「6点」が20.3%で、平均で6.2点となっています。
- ・ 年代別でみると、30～50歳代と60歳代では「5点」が最も多くなっていますが、70歳以上では「7点」が最も多くなっています。
- ・ 地区別でみると、小田地区では「6点」が最も多くなっていますが、それ以外の地区では「5点」が最も多く、大庄地区では同率で「7点」も最も多くなっています。



※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。
※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 自由意見

(問32) 民生児童委員活動において、お困りのことやご提案があれば教えてください。

- ・ 民生児童委員活動に対する困りごとや提案では191名（32.6％）の意見がありました。以下、主な意見を抜粋しています。（意見数を複数回答可としてカウントしているため、回答者数と意見数の合計は一致しない。）

《体制について：60件》

【困りごと】
・ 依頼事項のアクションが遅い。特に管理職からの返答がない。
・ 要支援者となかなかコミュニケーションがとれないことがある。一度も顔を見たことのない対象者もいる。
・ 民生児童委員になってくれる人がない。
・ 報告書を書いているが数字だけの報告で何がわかるか。またわかりにくい質問でどこにあてはまるかいつも迷う。研修会が多く地域を回る時間がない。コロナの時に民生委員になって次から次へと説明会で詰め込み式の勉強会だったが、ほとんど意味もわからず業務の活動をしている。
・ 担当地域の方からの要望をどの程度まで民生委員の役割として手伝っていいのか、わからない時がある。
・ 1人当たりの担当人数が多すぎて把握できない。年末の担当ワーカーさんの名簿回収や対面挨拶はワーカーさんの負担が大きく改善してあげてほしい。民生委員も仕事をしていると平日の日中に調整が難しい。
・ 担当する人数が多く、安否確認や手助けが行き届いていない現状です。守秘義務がネックとなり、どこまで周りに協力してもらったら良いのかわかりません。
・ 民生委員自体が欠員になる町内会が増えて1人でいくつも単組を抱えているがカバーしきれない。
・ 民生児童委員の人員不足と高齢化。民生児童委員制度は崩壊の危機にあります。速やかに国レベルの改革が必要だと思います。
・ 民生児童委員の成り手がいないためブロック内の他地域を担当することに不安を感じている。
【提案】
・ 民生委員の選出の仕方の見直し。
・ 重層的支援を掲げるには一番に市民を社協に登録、参加していただくことが大きな基礎となるように思う。肩書を持った人が上から言葉を発しても、地域に住む市民が隣近所を把握していくことが大きな力となるのではないのでしょうか。もっと地盤を固めるにはどうしたら良いのかを取り組んでいただきたい。何かというとNPO立ち上げ補助を出すのはどうかと思う。
・ 参加者がいない。成り手がいない。真面目な人間に押し付ける形でならざるを得ないため、次がない。今後、成り手はいなくなると思う。相応の対価とは言えないが相応の対価くらいしか、活動は制限されるだろうと思う。自分の家族のために仕事をしなければならないので優先順位は決まってくる。民生委員を適当にするつもりはないが、何らかの「優待制度」は必要だと思います。
・ 学校区ごとにコミュニティソーシャルワーカーを置いて、独居の対応、困難事例の対応、地域機関の連携、住民への協力等の役割を担い、それを民生児童委員がフォローする形を作してほしい。
・ 現在活動されている民生委員や福祉協会役員の方は昭和世代の方が多く、高齢化が進んでいます。次の“担い手”に困っている状況で、若い方に声をかけても「仕事があるので」と言われます。民生委員の仕事は日々忙しいです。その上、研修等も多いと思いますので、できるだけ研修会、行事等を減らしていただけたらありがたいと思います。
・ 防災について研修など受けましたが、市などが主導で各福祉協会、民生委員ブロックなどと具体的な避難訓練などしてほしい。
・ 民生委員の選出方法の改善担当地区範囲の改善。代行地区の改善。
【その他】
・ 民生児童委員になる人がいないので、これから年を取れば欠員になることがあるようになるので、若い人の民生委員への理解が必要です。
・ 活動費を増やしてほしい。人の善意に頼り過ぎだと思う。ボランティアではなくお金を出して雇う方が良い。
・ 社会実態の変化に、制度が対応できなくなっている。具合的には、管理会社が管理する（大規模）マンションにおいて、委員の選出および活動に困難が多い（が困難である）。

《支援方法について：37 件》

【困りごと】	
	・活動をどう進めればいいのかわかりません。名簿はもらっていますが正直なところ、自分で地図で住所を確認して廻るのは気が重いです。地図で各家庭の位置を示してほしいです。また、訪問する時期や1か月にどれくらい訪問すればいいのか細かく示してほしいです。
	・要配慮者宅を訪問しても困惑されることが多い。要配慮者の名簿があまりにも大雑把すぎるのではないかと思う。なかなか本当に支援が必要な方にたどり着かない。
	・高齢者の方が何を求めているか知ることが難しいです。接し方も考えながら言葉を発するようにしています。
	・何度も訪問しても会えない方が数名います。メモでしか連絡が取れず話ができない。
	・担当地域はほとんどオートロックマンションです。表札もなく、御用聞きのように簡単に訪問できません。こちらから積極的に関われていません。
	・窓口(業務時間外)の対応でどこに相談すればいいのか。
	・地域の住民に対するお声かけの難しさ。時間の余裕が無い中での活動ができない場面がある。コロナ以降一段とコミュニケーションが取れなくなってきています。
	・目の見えない高齢者の方への支援が不十分のように思います。買い物や病院への付き添いなど。また認知症の高齢者への訪問に難しさを感じます。
【提案】	
	・個別避難計画について具体的に進めていただきたい。
	・高齢者、避難行動要支援者が150名以上いるので一人で全部を支援するのは困難です。大きなマンションにはその建物で1人民生委員を任命してほしいです。
	・支援を受けたりサービスを利用する場合には、まずは介護認定を申請し認定を受ける必要があることを、高齢者含め、高齢者に係るご家族の方々へ認知、理解をしていただけるような情報の発信や提供を市民へしていただけたらと、活動を通じて感じております。
	・市から防災ガイド(ハザードマップ)が配布されましたが、これをもっと活用して年1回のペースで研修会を設けたら良いと思います。以前、講演していただき、わかりやすかったので防災意識が高まりました。
【その他】	
	・民生委員の役割として住民の人との関わりを多く持ち、困っていたら市の福祉施設につなげるようになりたいです。
	・災害時に名簿の人達を助けに行ける自信がありません。自分のことで精一杯だと思います。どうしたら良いのでしょうか。役に立てるのでしょうか。声かけと見守りしかできません。
	・見守りを大切にしています。訪問を快く思われない場合、また、連絡先がわかると、絶えず電話があったり、距離の取り方を難しく感じるがありました。

《連携・協力について：29 件》

【困りごと】	
	・コロナ以降、高齢者が集う場が減り、地域とのつながりが薄くなっています。集う機会を増やしていただきたく思います。
	・町会がなく民生委員だけでは把握できないことがたくさんあります。高齢者はどんどん増えていくので、町会のない地域でも何か参加できるよう発信方法を考えてほしいです。
	・個人情報の取扱いについて、慎重になられるのは理解できるが、必要なことも市役所の職員さんから教えていただけず、知らされず、支援しにくい時がある。すべてが個人情報であるが守秘義務はわかっているので必要最低限は教えていただきたい。連携したい主任児童委員もよくわからない、同様です。
	・担当地域外の「気になる家」をどう伝えるか。伝えても動いてもらえない時にどうするか(担当の方がいるので、その方に不快な感じを与えることなく伝えたい)。
	・個人情報の問題があり、要支援名簿が町会、連協できないこと。いざ災害が起きた時、民生委員だけでは何もできません。町会、連協の役員さんのお力を借りないといけないのではと思います。
	・児童のいる家庭との関わりが持てないので何もできない。子ども会も老人会も無い。
	・保護宅に伺った時、強く拒否された時、一度福祉センターに電話しましたが、解決しませんでした。どうすれば良いか分からないままです。

【提案】	
	・それぞれの関係機関の事例報告をしていただけるとより理解も深まると思います。 ・関係機関との関係づくりのため年に何回か顔を合わせて話ができる場があればいいと思います。1回だけでは人を覚えきれないしその日に参加できないこともあるので複数回あるとうれしいです。 ・できるだけ民生委員や協力委員と情報共有はしていますが、なかなか難しいものもあります。市もそうですが、包括や介護(デイサービス)ケアマネジャーとも共有できれば助かります。 ・市の窓口が多すぎて、今抱えている問題はどちらに相談すればいいか迷うことが多いので何らかの形で明確にしてほしい。あと情報がなかなか入ってこないのであらゆる部署との連携を密にほしい。 ・子どもの貧困、虐待等に関しては、学校との連携も大切だと思います。情報が入ってきにくいと思います。 ・地域包括支援センターの方や、他関係機関の方と顔を合わせる機会があれば、活動に求められることも具体的にわかり、効果的な活動ができると思う。民生児童委員だけの集まりは月に1度以上あるが、実際の困り事に対応できているのかわからない。
【その他】	
	・自分自身が関係機関についての知識が不十分なので研修などで学ぶことができればと思います。 ・まだまだ連携はしにくい部分でもあると思いますが、少しずつでももっと動きやすくしたいです。

《情報共有について：25 件》

【困りごと】	
	・個人情報何事も邪魔して活動がしにくい。 ・相談を受けた際、ご本人の情報を市などからあまり教えてもらえない（守秘義務のため）ため、深い内容まで話しにくいことが度々ある。地域でのさまざまな集いがあることでお互いの事情が把握できるため大切なことだと思う。 ・個人情報もあるので近くに住む子ども達の人数が把握しづらい。 ・個人情報があり高齢者の介護度などの情報も身体のとこが悪いのか、ご家族に連絡したくてもいるのか、いないのか、情報共有がない。介護施設を利用しているのか情報がない。 ・個人情報の取り扱いの難しさを感じています。 ・担当する人数が多く、安否確認や手助けが行き届いていない現状です。守秘義務がネックとなり、どこまで周りに協力してもらったら良いかわかりません。 ・できるだけ民生委員や協力委員さんと情報共有はしていますが、なかなか難しいものがあります。
【提案】	
	・個人情報の取り扱いの難しさを感じています。温度差を埋めるためには日頃の声かけやあいさつではないかと思います。 ・教育委員会をはじめ、関係機関との取り組み（カンファレンスの参加等）ができればと思っています。

《その他について：57 件》

【困りごと】	
	・今年からの参加で何も知らないのので何をするかわからない。名簿をもらいましたが、知らない人にいきなり行けません。 ・民生児童委員になってまだ日が浅いので、活動に不安を感じています。 ・福祉に関してまだまだ知らないことが多い。知りたいと思うが、フルタイム仕事に家事に子育て介護と自分自身やることが多い年齢のため、時間なく、何もできず困っています。 ・会社勤めのため活動する時間があまりない。
【提案】	
	・民生委員の認知度がまだまだ住民に浸透していないので、市としてより深く民生委員の役割、立ち位置、町内会(福祉協会)との住み分けを分かりやすく周知する必要あり。
【その他】	
	・訪問を拒む方はずっと変わりません。 ・退職までは仕事一筋で近所付き合いなし。退職後もそれほど付き合いなし。地域に知り合いが少ない中での活動は、相手に警戒される感じがして、積極的になれない。